７００社を超える導入実績を誇る
消防設備点検結果報告書作成システム

消防くん V4

- ネットワーク環境を最大限に活用した管理・情報共有
- 抜群の操作性、柔軟なフォーム登録機能
- 安心の保守サポート体制、リーズナブルな保守費用

消防くんV4 ―概要―

1. 建築基準法により防火対象物と認定された建築構造物に対する、消防用防災設備の試験・点検に関する結果報告書作成システムです。

2. 全国共通の点検結果報告書・試験結果報告書・防火対象物点検結果報告書の様式が登録済みです。

3. クライアント・サーバータイプのシステムです。インストール台数無制限でLAN環境下での使用が可能です。

4. 月単位での点検予定物件の検索機能や点検予定月による自動的に抽出、一覧作成が可能です。

5. 物件ごとに複数(機能点検・総合点検など)のパターンを管理する事も可能です。

6. 物件名・住所・点検日等各ページ共通記入項目に対応したマスタ参照機能搭載され通常使用語句等が登録済みです。

7. 地域別の書式や個別の様式に対応する為のフォーム作成「編集、新規追加」が可能です。

8. 付属の「労務計画」は、消防くんに登録した基本情報とリンクでき、 作成した報告書物件情報を見ながら、点検業務の人員配置ができます。複数物件に渡って行われる点検作業の計画と、二重の人員配置を防ぐことができます。

9. 「消防くん」は情報処理振興事業協会の委託を受けて開発したシステムです。

消防くん V4 －こだわりの自社開発－

「消防くん」は発売して20年ずっと外部の協力業者は使わず自社開発しております。開発効率という点で考えると外部の協力業者を使ったほうが良い場合も少なくないのですが、以下の理由で自社開発にこだわり続けています。

✓お客様の声が開発者にダイレクトに届く

✓電話での操作問い合わせに開発者が協力できる

✓トラブル・不具合の際に迅速対応できる

なかでも一番意識しているのはお客様の声が開発者にダイレクトに届く環境を作るということです。もともと当社には点検票作成業務の専門家がいるという環境ではなかったので、発売当初の「消防くん」は点検票を搭載してはいるけど、ワープロように文字入力し印刷するという程度のものでした。機能が不足していたため、はじめのうちはお客様から「使いにくい」「点検票作成業務に沿っていない」などの厳しい声をいただくことも多かったのですが、お客様のご要望に１つずつ応えていくうちに点検票作成業務の効率が格段にアップできる機能が徐々に増えていきました。入力履歴、総括表の自動作成、点検者一覧の自動作成、ネットワーク対応など挙げると切りがないのですが、お客様のアドバイスのおかげで搭載した機能が多数あります。10月に搭載予定の機能もやはりお客様からご要望を参考にしたものです。
これからもお客様のご要望にこれまで以上に応えれるように自社開発にこだわって良い製品を作っていきたいと思います。

消防くん V4 ―導入実績―

「消防くん」は全国で７００社を超える業界トップクラスの導入実績を誇る点検票ソフトです。
下記データは2010年6月末時点のデータで現在も増え続けております。

2010年6月30日現在

都道府県	導入社数	ライセンス数
北海道	8	19
青森県	3	4
岩手県	4	5
宮城県	7	7
秋田県	8	8
山形県	2	4
福島県	5	20
茨城県	10	19
栃木県	7	7
群馬県	7	17
埼玉県	33	66
千葉県	31	68
東京都	113	219
神奈川県	101	216
新潟県	10	13
富山県	3	4

都道府県	導入社数	ライセンス数
石川県	4	5
福井県	13	23
山梨県	9	11
長野県	12	18
岐阜県	13	18
静岡県	12	25
愛知県	61	103
三重県	3	6
滋賀県	4	13
京都府	10	24
大阪府	30	80
兵庫県	43	85
奈良県	6	8
和歌山県	5	5
鳥取県	2	5
島根県	5	12

都道府県	導入社数	ライセンス数
岡山県	5	8
広島県	21	38
山口県	3	7
徳島県	5	6
香川県	2	3
愛媛県	0	0
高知県	1	3
福岡県	40	65
佐賀県	5	8
長崎県	16	27
熊本県	7	9
大分県	11	27
宮崎県	1	1
鹿児島県	1	3
沖縄県	4	7
合計	**706**	**1349**

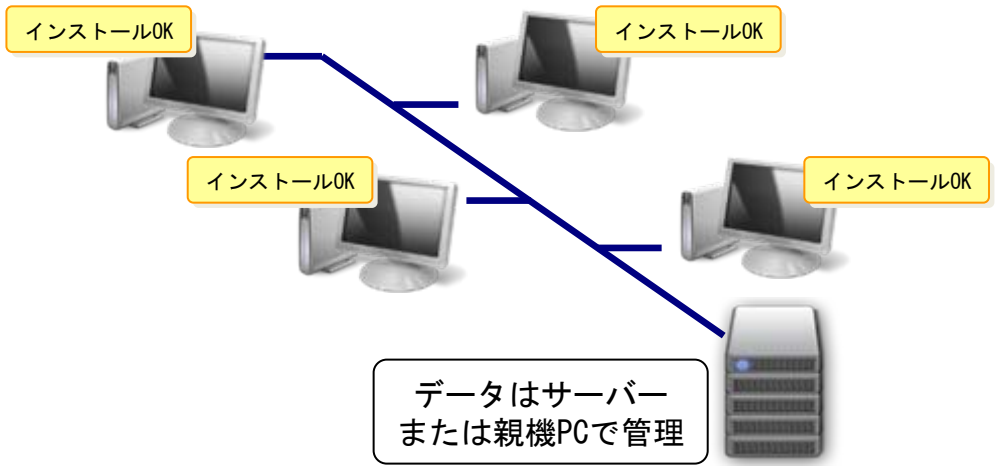
１社あたり平均で約２ライセンスお使いいただいております。
ネットワークでのご使用が以前と比較すると格段に増えています。

消防くん V4 特長①　～ライセンス管理機能～

オススメ機能！

これまでのインストールする台数分のライセンスを購入していただく形態から同時に起動するライセンス数で管理する形態に変更しました。
購入ライセンス数に関係なくインストールする台数に制限はありません。
「所有するパソコンの台数が多い」、「確認のために少しだけ使いたい」という方に最適です。様式編集も全クライアントへインストールすることが可能です。

例えば・・・１ライセンス購入でも社内すべてのＰＣにインストール可能！



この機能を活用すれば１ライセンスの購入でも社内のすべてのＰＣに「消防くん」をインストールすることが可能です。

導入後のライセンス追加も可能なのでとりあえず少ないライセンス数を導入して運用することができます。

システム化における最大の課題である初期導入費用を抑えることができます。

消防くん V4 ライセンス管理機能導入例①

購入ライセンス数：３ライセンス

インストール台数：９台（点検担当部署７台、業務担当部署２台）

■ 運用方法 ■

点検担当者：点検した物件の点検票を作成。

事務担当者：問い合わせ時の確認用に使用。

■ 導入効果 ■

「消防くん」導入前に使用していた点検票ソフトは２ライセンス使用していたが、決まった２台のパソコンでしか使用できなかったため、ソフトを使用するときに席を移動する必要があった。

「消防くん」を各担当者のパソコンに導入することにより、席の移動などのわずらわしさがなくなった。

■ 今後の課題 ■

データが管理者個人のパソコンに入っているので安定性、信頼性を考慮しサーバー機の導入も視野に入れたい。

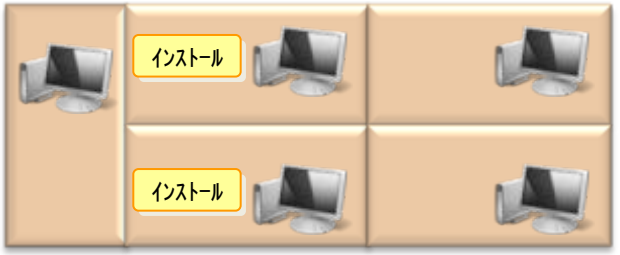
タ方に利用者が集中するので、あまりにも集中するようであれば追加ライセンスを検討する必要がある。

点検担当部署

7台すべてのパソコンにインストール

業務担当部署

２台のパソコンにインストール



消防くん V4 ライセンス管理機能導入例②

購入ライセンス数：１ライセンス

インストール台数：３台

■ 運用方法 ■

点検担当者：点検した物件の点検票を作成。

事務担当者：未使用。

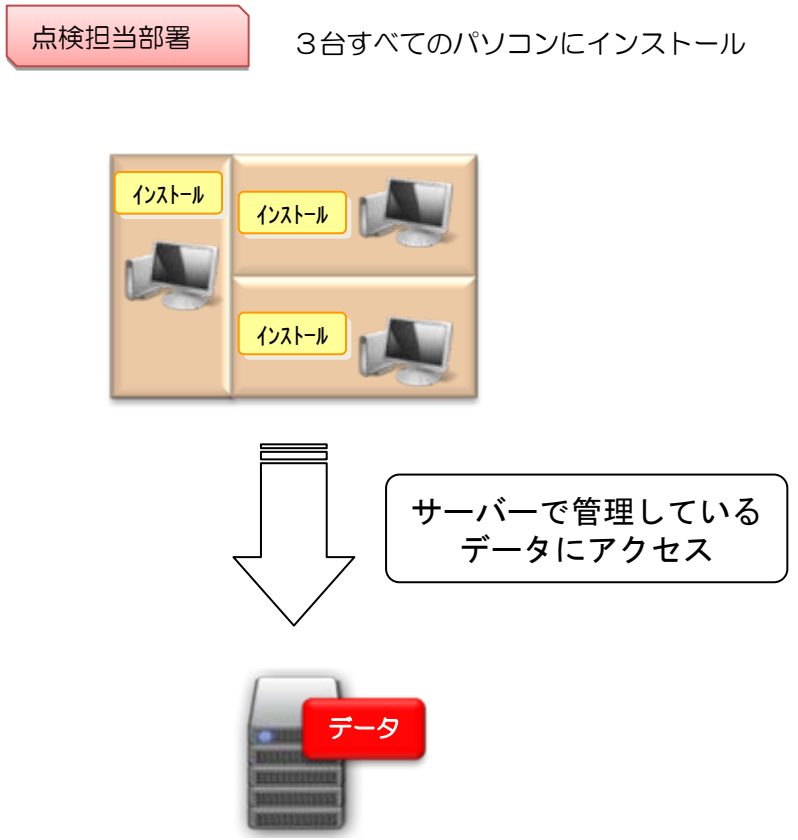
■ 導入効果 ■

「消防くん」の以前のバージョン（V3）からバージョンアップ。
Ｖ３では１台決まったパソコンで使用していたが、バージョンアップを機に点検担当者３名のすべてのパソコンにインストール、データはバックアップ等の信頼性からサーバーで管理して運用。

■ 今後の課題 ■

現在「消防くん」を使用しているのが点検担当者だけなので緊急の問い合わせ時への対応を考え、事務担当者も使用できるようにしたい。

今後パソコンを増設することも考えられるので、その際は追加ライセンスを検討する必要がある。



消防くん V4 特長②　～充実の搭載書式～

法令に準拠した点検結果報告書、試験結果報告書をはじめ標準搭載しております。

点検報告	様式1	点検結果報告書
	様式2	点検結果総括表
	様式3	点検者一覧表
	参考様式	修理・整備記録表
点検票	様式1	消火器具
	様式2	屋内消火栓設備
	様式3	スプリンクラー設備
	様式4	水噴霧消火設備
	様式5	泡消火設備
	様式6	不活性ガス消火設備
	様式7	ハロゲン化物消火設備
	様式8	粉末消火設備
	様式9	屋外消火栓設備
	様式10	動力消防ポンプ設備
	様式11	自動火災報知設備
	様式11の2	ガス漏れ火災警報設備
	様式12	漏電火災警報器
	様式13	消防機関へ通報する火災報知設備
	様式14	非常警報器具及び設備
	様式15	避難器具
	様式16	誘導灯及び誘導標識
	様式17	消防用水
	様式18	排煙設備
	様式19	連結散水設備
	様式20	連結送水管（共同住宅用）
	様式21	非常コンセント設備（共同住宅用）
	様式22	無線通信補助設備
	様式23	非常電源専用受電設備
	様式24	自家発電設備
	様式25	蓄電池設備
	様式25の2	燃料電池設備
	様式26	配線
	様式27	総合操作盤
	様式28	パッケージ型消火設備
	様式29	パッケージ型自動消火設備
	様式30	共同住宅用スプリンクラー設備
	様式31	共同住宅用自動火災報知設備
	様式32	住戸用自火報・共住用非常警報設備
	様式33	特定小規模施設用自動火災報知設備
	様式34	加圧防排煙設備
	様式35	複合型居住施設用自動火災報知設備

試験報告	様式1	消火器
	様式2	屋内消火栓設備
	様式3	スプリンクラー設備
	様式4	水噴霧消火設備
	様式5	泡消火設備
	様式6	不活性ガス消火設備
	様式7	ハロゲン化物消火設備
	様式8	粉末消火設備
	様式9	屋外消火栓設備
	様式10	動力消防ポンプ設備
	様式11	自動火災報知設備
	様式12	ガス漏れ火災警報設備
	様式13	漏電火災警報器
	様式14	消防機関へ通報する火災報知設備
	様式15	非常警報設備
	様式16	避難器具
	様式17	誘導灯及び誘導標識
	様式18	消防用水
	様式19	排煙設備
	様式20	連結散水設備
	様式21	連結送水管（共同住宅用）
	様式22	非常コンセント設備（共同住宅用）
	様式23	無線通信補助設備
	様式24	非常電源専用受電設備（高圧）
	様式25	非常電源専用受電設備（低圧）
	様式26	自家発電設備
	様式27	蓄電池設備
	様式27の2	燃料電池設備
	様式28	配線
	様式29	総合操作盤
	様式30	パッケージ型消火設備
	様式31	パッケージ型自動消火設備
	様式32	共同住宅用スプリンクラー設備
	様式33	共同住宅用自動火災報知設備
	様式34	住戸用自火報・共住用非常警報設備
	様式35	特定小規模施設用自動火災報知設備
	様式36	加圧防排煙設備
	様式37	複合型居住施設用自動火災報知設備

設置･着工届	様式1の2の3	設置届出書
	様式1の7	着工届出書
概要表	様式1	防火対象物・製造所等
	様式2	屋内・屋外・水噴霧・泡消火設備
	様式3	スプリンクラー設備
	様式4	不活性ガス･ハロゲン化物･粉末消火設備
	様式5	自動火災報知設備
	様式6	消防機関へ通報する火災報知設備
	様式7	ガス漏れ火災警報設備
	様式8	避難器具
	様式9	総合操作盤
	様式10	パッケージ型消火設備
	様式11	パッケージ型自動消火設備
防火対象物	様式1	防火対象物点検結果報告書
	様式2	防火対象物点検票（その1～5）
	様式2	防火対象物点検票（その6～8）
防災管理	様式1	防災管理点検結果報告書
	様式2	防災管理点検票（その1～3）
点検票参考様式	参考様式	可搬消防ポンプ等点検・整備記録票
	参考様式	蓄電池充電記録
	参考様式	簡易自動消火装置点検票
	参考様式	消防用設備等設置計画届出書

消防くんV4 ～様式出力サンプル１～

別記様式第１

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書

年　月　日

殿

届出者
住所
氏名　㊞
電話番号

下記のとおり消防用設備等（特殊消防用設備等）の点検を実施したので、消防法第17条の３の３の規定に基づき報告します。

記

防火対象物	所在地	福岡県福岡市中央区薬院3-16-27
	名称	サンプルビル
	用途	（16）項ロ・（前項以外の複合用途対象物）
	構造・規模	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造　地上　5階　地下　－階 床面積　500㎡　延べ面積　600㎡
点検期間		平成２２年６月から２３年５月まで（　年　月から　年　月まで）
消防用設備等（特殊消防用設備等）の種別		消火器具 粉末消火設備 自動火災報知設備 ガス漏れ火災警報設備 消防機関へ通報する設備 非常警報器具及び設備 避難器具 誘導灯及び誘導標識 連結送水管 非常電源(自家発電設備) 非常電源(蓄電池設備)
点検票		別添のとおり

点検者							
住所	神奈川県横浜市中区本町3-30-7　横浜平和ﾋﾞﾙ内						
氏名	佐藤　謙作　（　日本ﾒｯｸｽ株式会社　）						
点検資格	消防設備士	種類等	交付知事	交付年月日	講習受講状況		
				交付番号	受講地	受講年月	
		甲・乙種類	都道府県	年月日 第　号	都道府県	年　月	
	消防設備点検資格者	種類		交付年月日	再講習受講状況		
				交付番号	受講	年　月	
		特・(第１)・(第２)種		17年12月28日 17年4月15日 第141703333号 241700517号	H22	年　3　月	

※受付欄	※経過欄	※備考

備考　１　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
２　点検者が複数の場合は、別紙に記入し、添付すること。
３　消防用設備等又は特殊消防用設備等ごとの点検票を添付すること。
４　※印欄は、記入しないこと。
５　点検期間のうち、消防用設備等と同時に特殊消防用設備等を点検する場合、その点検期間を（　）へ記入すること。

別記様式第３

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検者一覧表

点検者						設備名
住所	長崎県長崎市若葉町					消火器具
氏名	点検　乙郎			電話番号	095-849-4240	スプリンクラー設備
資格	消防設備士	種類等	交付知事	交付年月日	講習受講状況	粉末消火設備
				交付番号	受講地 受講年月	連結送水管
		甲・乙種類	都道府県	年月日 第　号	都道府県 年　月	
	消防設備点検資格者	種類		交付年月日	再講習受講状況	
				交付番号	受講　年　月	
		特種		年月日 第　号	年　月	
		(第１種)		H14年12月7日 第14010000号	18年02月	
		第２種		年月日 第　号	年　月	
住所	長崎県長崎市若葉町					自動火災報知設備
氏名	点検　甲郎			電話番号	095-849-4240	ガス漏れ火災警報設備
資格	消防設備士	種類等	交付知事	交付年月日	講習受講状況	消防機関へ通報する設備
				交付番号	受講地 受講年月	非常警報器具及び設備
		甲・乙種類	都道府県	年月日 第　号	都道府県 年　月	避難器具
	消防設備点検資格者	種類		交付年月日	再講習受講状況	誘導灯及び誘導標識
				交付番号	受講　年　月	非常電源(自家発電設備)
		特種		年月日 第　号	年　月	非常電源(蓄電池設備)
		第１種		年月日 第　号	年　月	
		(第２種)		07年11月30日 第202000号	19年09月	
住所						
氏名				電話番号		
資格	消防設備士	種類等	交付知事	交付年月日	講習受講状況	
				交付番号	受講地 受講年月	
		甲・乙種類	都道府県	年月日 第　号	都道府県 年　月	
	消防設備点検資格者	種類		交付年月日	再講習受講状況	
				交付番号	受講　年　月	
		特種		年月日 第　号	年　月	
		第１種		年月日 第　号	年　月	
		第２種		年月日 第　号	年　月	

備考　１　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
２　住所、電話番号の欄は、点検者が法人に属する場合は、所属会社の住所、電話番号を記入すること。
３　資格の欄は、消防設備士又は消防設備点検資格者の区分、種類等、交付年月日、交付番号、交付機関、最新の講習（再講習）受講年月等を記入すること。

別記様式第２

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果総括表　（その１）

名称	サンプルビル	防火管理者	㊞
所在	福岡県福岡市中央区薬院3-16-27	点検実施責任者	
点検種別	(機器点検)・総合点検・(設備等設置維持計画による点検)	点検年月日	平成２２年　６月２４日～　２２年　６月２４日

設備名	点検結果 判定	点検結果 不良内容	措置内容	立会者
消火器具	(良)・不良			㊞
スプリンクラー設備	(良)・不良			㊞
粉末消火設備	(良)・不良			㊞
自動火災報知設備	(良)・不良			㊞
ガス漏れ火災警報設備	(良)・不良			㊞
消防機関へ通報する設備	(良)・不良			㊞
非常警報器具及び設備	(良)・不良			㊞
避難器具	(良)・不良			㊞
誘導灯及び誘導標識	良・(不良)	非常電源 IP検査便所前、面談室前設置の通路非常灯はﾊﾞｯﾃﾘｰ不良の為、交換が必要です。		㊞
連結送水管	(良)・不良			㊞
非常電源(自家発電設備)	(良)・不良			㊞
非常電源(蓄電池設備)	(良)・不良			㊞

備考　１　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
２　判定欄は、正常の場合は「良」に、不良の場合には「不良」に○印を付し、不良内容欄にその内容を記入すること。
３　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消防くん V4 ～様式出力サンプル２～

別記様式第１　　　　　　　　　　　　　　（その１）

消火器具点検票

名称	サンプルビル			防火管理者	㊞
所在	福岡県福岡市中央区薬院3-16-27			立会者	㊞
点検種別	機器点検	点検年月日	平成２２年　６月２４日～　２２年　６月２４日		
点検者	資格　番号 第１種　600000 氏名 点検　甲郎　㊞	点検者所属会社	社名 株式会社ビジネス消防設備 住所 長崎県長崎市若葉町	TEL 095-849-4240	

点検項目		A	B	C	D	E	F	判定	不良内容	措置内容
		点検結果：消火器の種別								
機器点検										
設置状況	設置場所	○						○		
	設置間隔	○						○		
	適応性	○						○		
	耐震措置	／						／		
表示・標識		○						○		
消火器の外形	本体容器	○						○		
	安全栓の封	○						○		
	安全栓	○						○		
	使用済みの表示装置	○						○		
	押し金具・レバー等	○						○		
	キャップ	○						○		
	ホース	○						○		
	ノズル・ホーン・ノズル栓	○						○		
	指示圧力計	／						／		
	圧力調整器	／						／		
	安全弁	／						／		
	保持装置	／						／		
	車輪（車載式）	／						／		
	ガス導入管（車載式）	／						／		

備考　1　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
2　消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Ａは粉末消火器、Ｂは泡消火器、Ｃは強化液消火器、Ｄは二酸化炭素消火器、Ｅはハロゲン化物消火器、Ｆは水消火器をいう。
3　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
4　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
5　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第１　　　　　　　　　　　　　　消火器具（その２）

点検項目			A	B	C	D	E	F	判定	不良内容	措置内容
消火器の内部等・機能	本体容器・内筒等	本体容器	○						○		
		内筒等	／						／		
		液面表示	／						／		
	消火薬剤	性状	○						○		
		消火薬剤量	○						○		
	加圧用ガス容器		○						○		
	カッター・押し金具		○						○		
	ホース		○						○		
	開閉式ノズル・切替式ノズル		／						／		
	指示圧力計		／						／		
	使用済みの表示装置		○						○		
	圧力調整器		／						／		
	安全弁・減圧孔（排圧栓を含む。）		○						○		
	粉上り防止用封板		○						○		
	パッキン		○						○		
	サイホン管・ガス導入管		○						○		
	ろ過網		／						／		
	放射能力		／						／		
簡易消火用具	外形		／	／	／	／	／	／	／		
	水量等		／	／	／	／	／	／	／		

備考：(別紙消火器管理表参照)
・点検結果異常なし

測定機器 機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
ｷｬｯﾌﾟｽﾊﾟﾅ			宮田工業				
ﾊﾞﾈ秤			ﾔﾏﾄ秤				
懐中電灯			松下電器				

器種名	設置数	点検数	合格数	要修理数	廃棄数
粉末ABC10型	77	77	77	0	0
粉末ABC50型	1	1	1	0	0

備考　1　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
2　消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Ａは粉末消火器、Ｂは泡消火器、Ｃは強化液消火器、Ｄは二酸化炭素消火器、Ｅはハロゲン化物消火器、Ｆは水消火器をいう。
3　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
4　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
5　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第16

誘導灯及び誘導標識点検票

名称	サンプルビル			防火管理者	㊞
所在	福岡県福岡市中央区薬院3-16-27			立会者	㊞
点検種別	機器	点検年月日	平成２２年　６月２４日～　２２年　６月２４日		
点検者	資格　番号 第２種　202000 氏名 点検　甲郎　㊞	点検者所属会社	社名 株式会社ビジネス消防設備 住所 長崎県長崎市若葉町	TEL 095-849-4240	

点検項目			避難口	通路	客席	判定	不良内容	措置内容
機器点検								
誘導灯	外箱・表示面	種類	○	○	／	○		
		視認障害等	○	○	／	○		
		外形	○	○	／	○		
		表示	○	○	／	○		
	非常電源（内蔵型）	外形	○	○	／	○		
		表示	○	○	／	○		
		機能	○	②	／	×	備考欄参照	
	光源		○	○	／	○		
	点検スイッチ		○	○	／	○		
	ヒューズ類		○	○	／	○		
	結線接続		○	／	／	○		
	信号装置等	外形	○	／	／	○		
		結線接続	○	／	／	○		
		機能	○	／	／	○		
誘導標識	外形		／	／	／	／		
	視認障害等		／	／	／	／		
	採光		／	／	／	／		
	※表示面の輝度		／	／	／	／		
	※設置場所の照度		／	／	／	／		

備考：・種別･容量等の内容は、別添記入。
※1F検査便所前、面談室前設置の通路小形2台はﾊﾞｯﾃﾘｰ不良の為、交換が必要です。(FK381 2.4V 2000mAh 松下)

測定機器 機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
照度計	照度計	2007.04	共立電気計器株式会社				
自己点検用 送信機	FSK90910	2009.03	松下電工				

備考　1　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
2　種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
3　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
4　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
5　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
6　票中※印のあるものは、「誘導灯及び誘導標識の基準」(平成11年消防庁告示第２号）第五第三号（四）に規定する高輝度蓄光式誘導標識に限る。

消防くんV4 ～様式出力サンプル３～

別記様式第11　（その１）

自動火災報知設備点検票

名称	サンプルビル	防火管理者	㊞
所在	福岡県福岡市中央区薬院3-16-27	立会者	㊞
点検種別	（機器）総合	点検年月日	平成２２年　６月２４日～　２２年　６月２４日
点検者	資格　番号 第２種　202000 氏名 点検　甲郎　㊞	点検者	社名 株式会社ビジネス消防設備　TEL 所属会社　住所 長崎県長崎市若葉町　095-849-4240
点検設備名	受信機	製造者名	ﾆｯｶﾝ(株)　1995年製
		型式等	受第3～20号 型式 16FJO-DC

点検項目			点検結果 種別・容量等の内容	判定	不良内容	措置内容
			機器点検			
予備電源（内蔵型）・非常電源	外形		密閉型Ni-cd蓄電池	○		
	表示		DC 24V 1.65AH	○		
	※端子電圧		27 V	○		
	※切替装置			○		
	※充電装置		ﾄﾘｸﾙ充電	○		
	※結線接続		ｺﾈｸﾀｰ接続	○		
受信機・中継器	周囲の状況		1F防災ｾﾝﾀｰ事務室	○		
	外形		自立型 GP型1級	○		
	表示			○		
	警戒区域の表示装置		38/40 L	○		
	電圧計		発行ﾀﾞｲｵｰﾄﾞ V	○		
	スイッチ類		2･4･5 A	○		
	※継電器			○		
	表示灯			○		
	通話装置		受信機～発信機間	○		
	※結線接続			○		
	接地		D種接地工事	○		
	附属装置		備考欄参照	○		
	※火災表示等	蓄積式		○		
		アナログ式		／		
		二信号式		／		
		その他		○		
	※注意表示			／		
	回路導通		常時監視	○		
	設定表示温度等			／		
	感知器作動等の表示			○		
	予備品等		ﾋｭｰｽﾞ等	○		

備考　１　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
２　種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
３　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
４　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
５　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
６　表中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあっては記入不要。

別記様式第11　自動火災報知設備（その２）

感知器	外形			○		
	警戒状況	未警戒部分		○		
		感知区域		○		
		適応性		○		
		機能障害		○		
	※熱感知器	スポット型	（差動）（定温）（再）熱アナログ	○		
		分布型 空気管式		／		
		分布型 熱電対式・熱半導体式		／		
		分布型 感知線型		／		
	※煙感知器	スポット型	イオン（光電）アナログ	○		
		分離型		／		
	※炎感知器		赤外線　紫外線	／		
	※多信号感知器・複合式感知器			／		
	遠隔試験機能を有する感知器			／		
発信機	周囲の状況			○		
	外形		P型1級	○		
	表示			○		
	押しボタン・送受話器			○		
	表示灯		AC 24V	○		
音響装置	外形		非常放送連動	○		
	取付状態			○		
	音圧等			○		
	鳴動方式		（一斉）（区分）相互 再鳴動	○		
※蓄積機能				○		
※二信号機能				／		

備考　１　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
２　種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
３　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
４　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
５　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
６　自動試験機能を有するものにあっては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
７　表中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあっては記入不要。

別記様式第11　自動火災報知設備（その３）

自動試験機能	予備電源・非常電源			／		
	受信機の火災表示			／		
	受信機の注意表示			／		
	受信機・中継器の制御機能・電話			／		
	感知器			／		
	感知器回路・ベル回路			／		
無線機能				／		
総合点検						
同時作動				／		
※煙感知器等の感度						
地区音響装置の音圧						
※総合作動						

備考　・点検結果異常なし

※付属装置 副受信機0台（2F×1･3F×2･4F×2･5F×1）　誘導灯信号装置　非常通報装置　電気錠　非常放送

	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
測定機器	加熱試験器				メーターリレー試験器			
	加煙試験器	BVT9201K	次回　2014.04	松下電工	感知器用作動試験器			
	外部試験器	NKS-2	次回　2012.09	ﾆｯｶﾝ	感知器用作動試験器			
	煙感知器用感度試験器	3282	2007.06	横河電機				
	減光フィルター	B699103K	次回　2011.11	松下電工				

備考　１　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
２　種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
３　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
４　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
５　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
６　自動試験機能を有するものにあっては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
７　表中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあっては記入不要。

消防くん V4 ～様式改定履歴～

「消防くん」は下記の様式改正・追加様式に対応しております。

	告示日	施行日	改定様式	追加様式
点検	平成18年03月29日	平成18年10月01日	様式16 誘導灯及び誘導標識	様式25-2 非常電源（燃料電池設備）
			様式24 非常電源（自家発電設備）	
			様式25 非常電源（蓄電池設備）	
	平成18年05月30日	平成19年04月01日	様式20 連結送水管	様式30 共同住宅用スプリンクラー設備
			様式21 非常コンセント設備	様式31 共同住宅用自動火災報知設備
				様式32 住戸用自動火災報知設備及び共同住宅用非常警報設備
	平成20年09月24日	平成21年06月01日	防火対象物　点検票	防災管理　点検票
	平成21年02月26日	平成21年02月26日	様式11 自動火災報知設備	様式33 特定小規模施設用自動火災報知設備
	平成21年03月30日	平成21年04月01日	様式 3 スプリンクラー設備	
			様式13 消防機関へ通知する設備	
	平成21年09月15日	平成21年09月15日		様式34 加圧防排煙設備
	平成21年11月06日	平成21年12月01日	様式14 非常警報器具及び設備	
			様式16 誘導灯及び誘導標識	
	平成22年02月05日	平成22年02月05日	様式31 共同住宅用自動火災報知設備	様式35 複合型居住施設用自動火災報知設備
			様式32 住戸用自動火災報知設備及び共同住宅用非常警報設備	
試験	平成18年03月29日	平成18年10月01日	様式17 誘導灯及び誘導標識	様式27-2 非常電源（燃料電池設備）
			様式26 非常電源（自家発電設備）	
			様式27 非常電源（蓄電池設備）	
	平成18年05月30日	平成19年04月01日	様式21 連結送水管	様式32 共同住宅用スプリンクラー設備
			様式22 非常コンセント設備	様式33 共同住宅用自動火災報知設備
				様式34 住戸用自動火災報知設備・共同住宅用非常警報設備
	平成21年02月26日	平成21年02月26日	様式11 自動火災報知設備	様式35 特定小規模施設用自動火災報知設備
	平成21年03月30日	平成21年04月01日	様式 3 スプリンクラー設備	
			様式14 消防機関へ通知する設備	
	平成21年09月15日	平成21年09月15日		様式36 加圧防排煙設備
	平成21年11月06日	平成21年12月01日	様式17 誘導灯及び誘導標識	
	平成22年02月05日	平成22年02月05日	様式33 共同住宅用自動火災報知設備	様式37 複合型居住施設用自動火災報知設備
			様式34 住戸用自動火災報知設備	

平成22年8月末現在

消防くん V4 ～様式改定対応予定～

次回は下記の様式改正への対応をしております。ソフト保守（テクニカルサポートパック）にご加入のお客様は無償でご対応いたします。

	告示日	施行日	改定様式	追加様式
点検	平成22年08月26日	平成22年08月26日	様式16 誘導灯及び誘導標識	なし
試験	平成22年08月26日	平成22年08月26日	様式 7 ハロゲン化物消火設備	なし
			様式17 誘導灯及び誘導標識	

■改正後の誘導灯及び誘導標識点検票

改　正　後

別記様式第16　（その1）

誘導灯及び誘導標識点検票

名称		防火管理者			㊞
所在		立会者			㊞
点検種別	機器	点検年月日	年　月　日～　年　月　日		
点検者	資格　番号	点検者所属会社	社名　TEL		
	氏名　㊞		住所		

点検項目			点検結果 種別・容量等の内容	判定	不良内容	措置内容
			避難口 通路 客席			
機器点検						
誘導灯	外観・表示面	種類				
		視認障害等				
		外形				
		表示				
	非常電源（内蔵型）	外形				
		表示				
		機能				
	光源					
	点検スイッチ					
	ヒューズ等					
	結線接続					
	信号装置等	外形				
		結線接続				
		機能				

備考　1　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
2　種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
3　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
4　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
5　措置内容欄には、点検の際講じた内容を記入すること。

改　正　後

別記様式第16　誘導灯及び誘導標識点検票（その2）

誘導標識	外形						
	視認障害等						
	採光又は照明						
	※表示面の輝度						
	※設置場所の照度						
	※※ヒューズ類						
	※※誘導接続						
	※※※非常電源	外形					
		表示					
		機能					
備考							

測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名

備考　1　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
2　種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
3　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
4　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
5　措置内容欄には、点検の際講じた内容を記入すること。
6　第中※印のあるものは、消防法施行規則第28条の２第１項第３号ハ、規則第28条の３第４項第３号の２、第30号に規定する蛍光式誘導標識、「誘導灯及び誘導標識の基準」（平成11年消防庁告示第２号）第五第三号(四)に規定する表面蓄光式誘導標識に限る。
7　第中※※印のあるものは、電池又はエネルギーにより光を放する誘導標識に限る。
8　第中※※※印のあるものは、電池又はエネルギーにより光を放する誘導標識のうち、内照式の標識を有するものに限る。

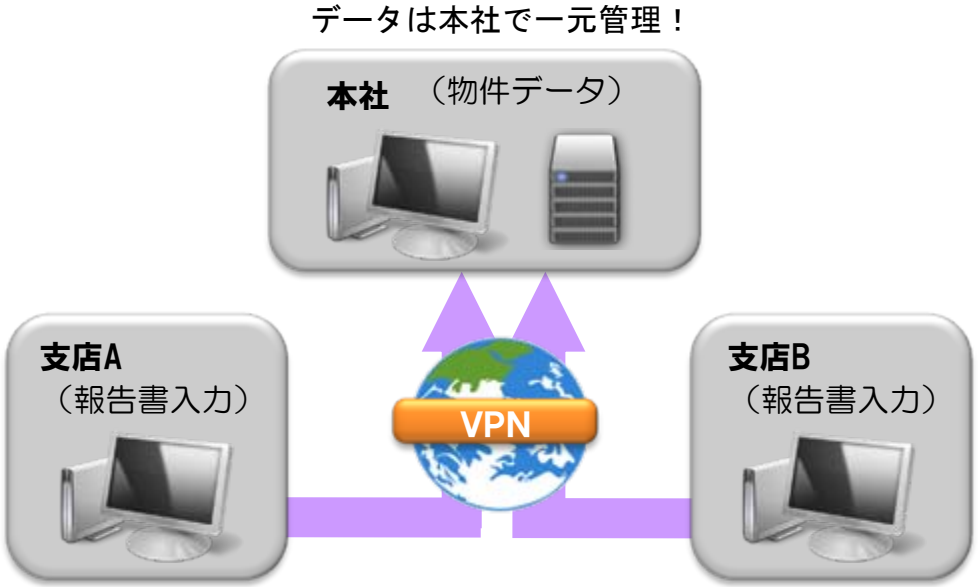
消防くん V4 特長③　～VPN環境対応～

NEW！

VPN接続対応

データ処理方法の改善により、サイズの大きい物件データもストレスなく作業できます。さらにこのデータ処理の改善によりVPN接続環境下でも使用可能になりました。本支店間、協力業者、自宅などの遠隔の拠点とのデータ共有が可能になります。

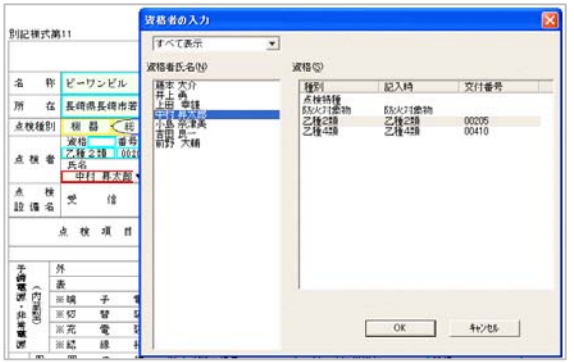
各拠点でそれぞれにデータを作成、更新、管理



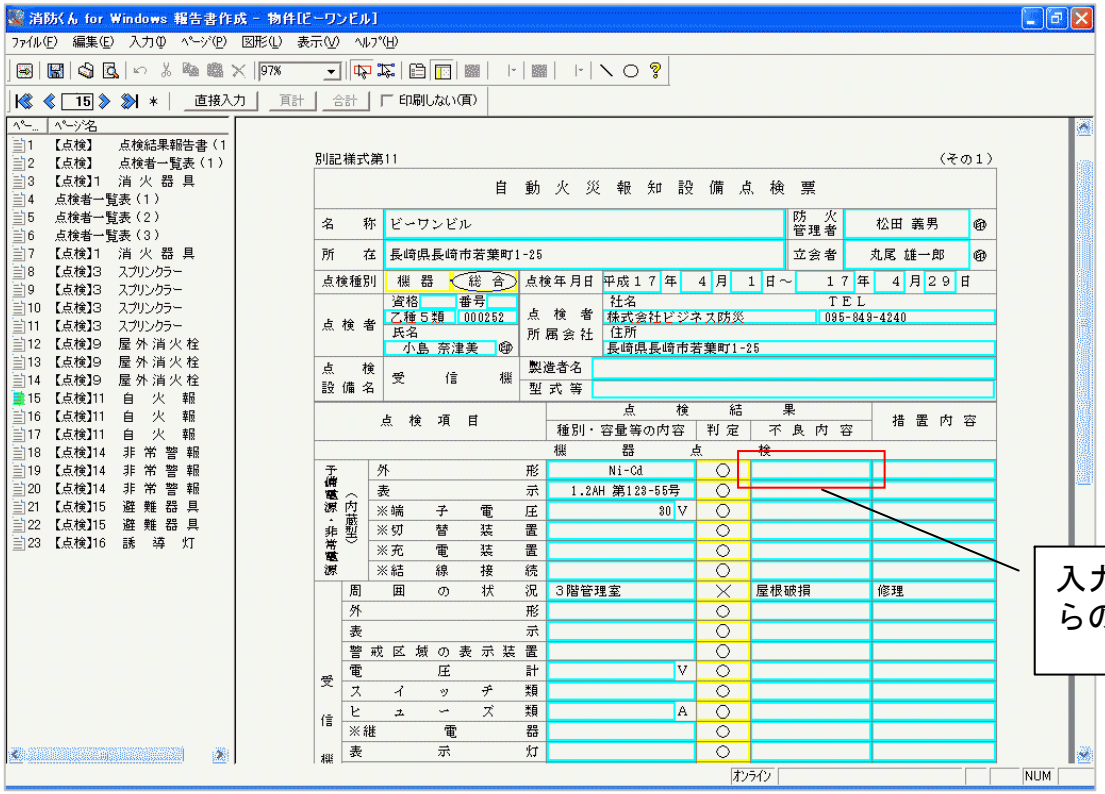
各拠点のＰＣにインストールしている報告書入力プログラムから本社のデータベースにアクセスします。

消防くん V4 特長④　～使いやすい画面設計と操作性～

見やすく、使いやすい画面設計を追求しました。
報告書の書面に対して違和感無く入力ができるようにしております。
また、マスタ入力、履歴からの入力などさまざまな機能を搭載する
ことにより、点検票作成の時間短縮と疲労軽減を実現しました。



－点検者マスター

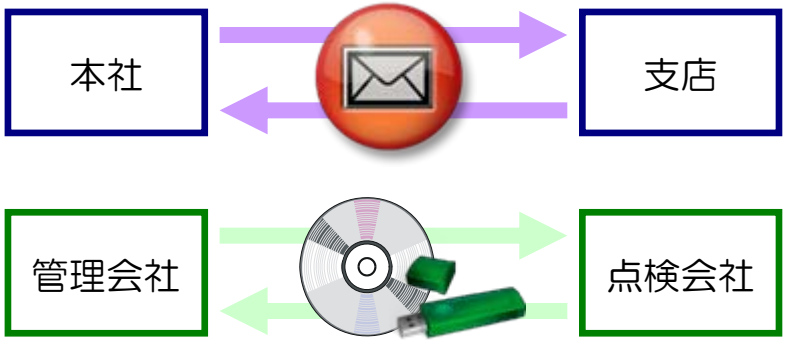


入力項目ごとに履歴からの入力が可能！

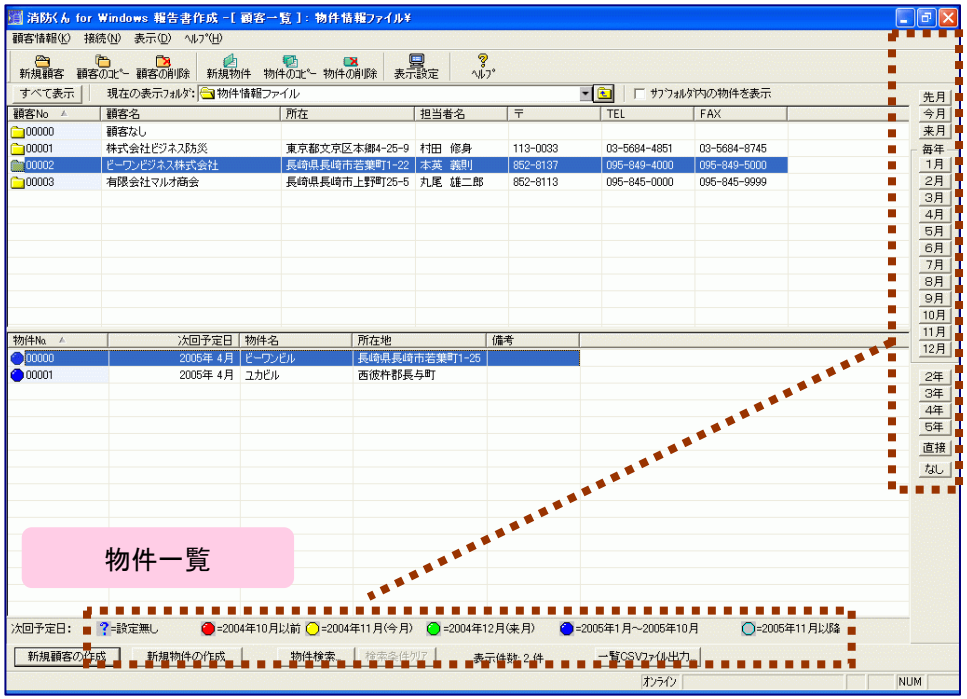
消防くん V4 特長⑤　～管理機能－１～

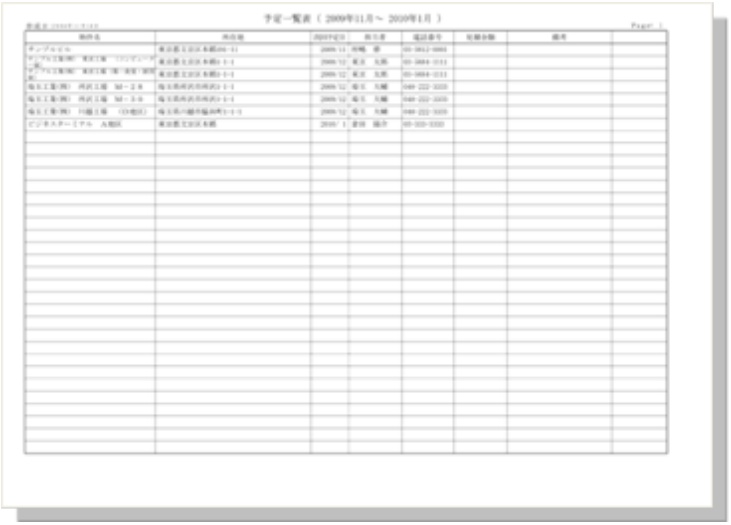
顧客名と対象となる物件の点検月や特記事項の管理が一画面で確認できます。また、点検時期で色分けして表示し、点検月ごとの予定一覧表も作成可能です。
各物件の点検票データはファイル抽出しメール送信、USBメモリやCD-Rにコピーし送ることができます。本社－支店間や協力業者間でのデータ共有が可能になります。

データでの送受信が可能！



※ PDFファイルでの送信も可能です！

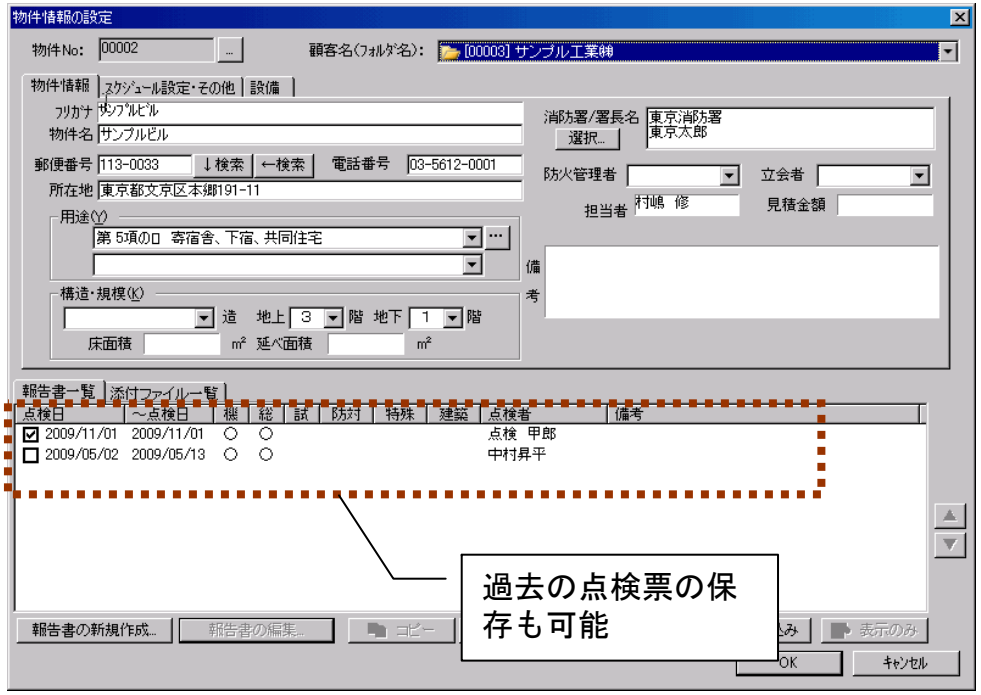


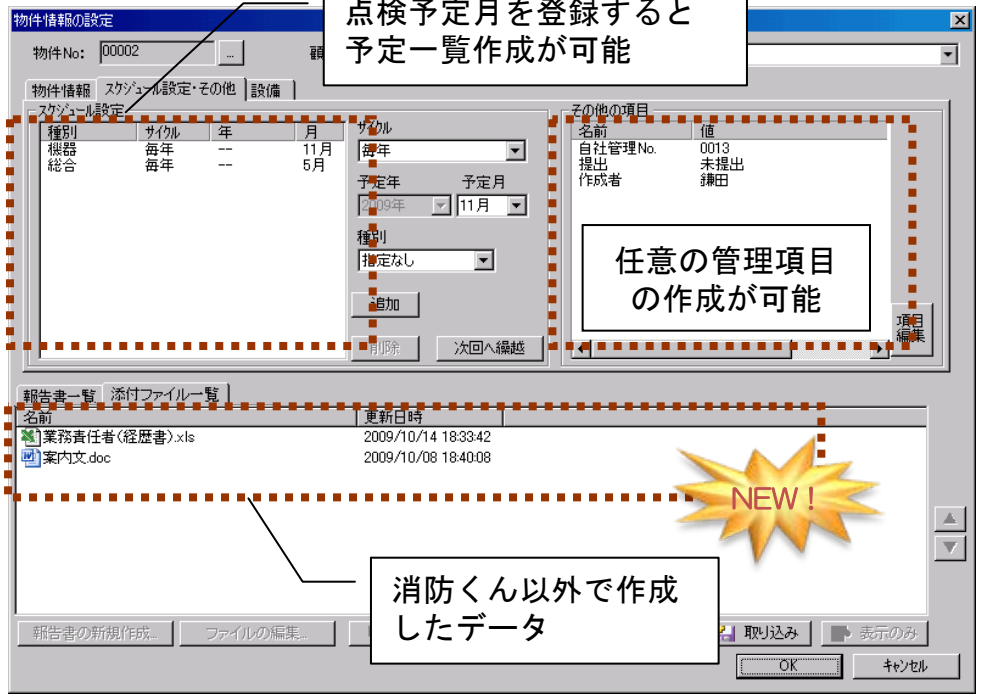


－予定一覧－

消防くん V4 特長⑥　～管理機能－２～

「消防くん」では点検票の管理だけではなく、各物件の点検月や任意に設定した項目の管理が可能です。また、物件情報としてエクセルやワード、スキャンした図面など消防くん以外で作成したファイルの添付が可能になり、物件に係わる情報を「消防くん」でデータベース化し一元管理することができます。

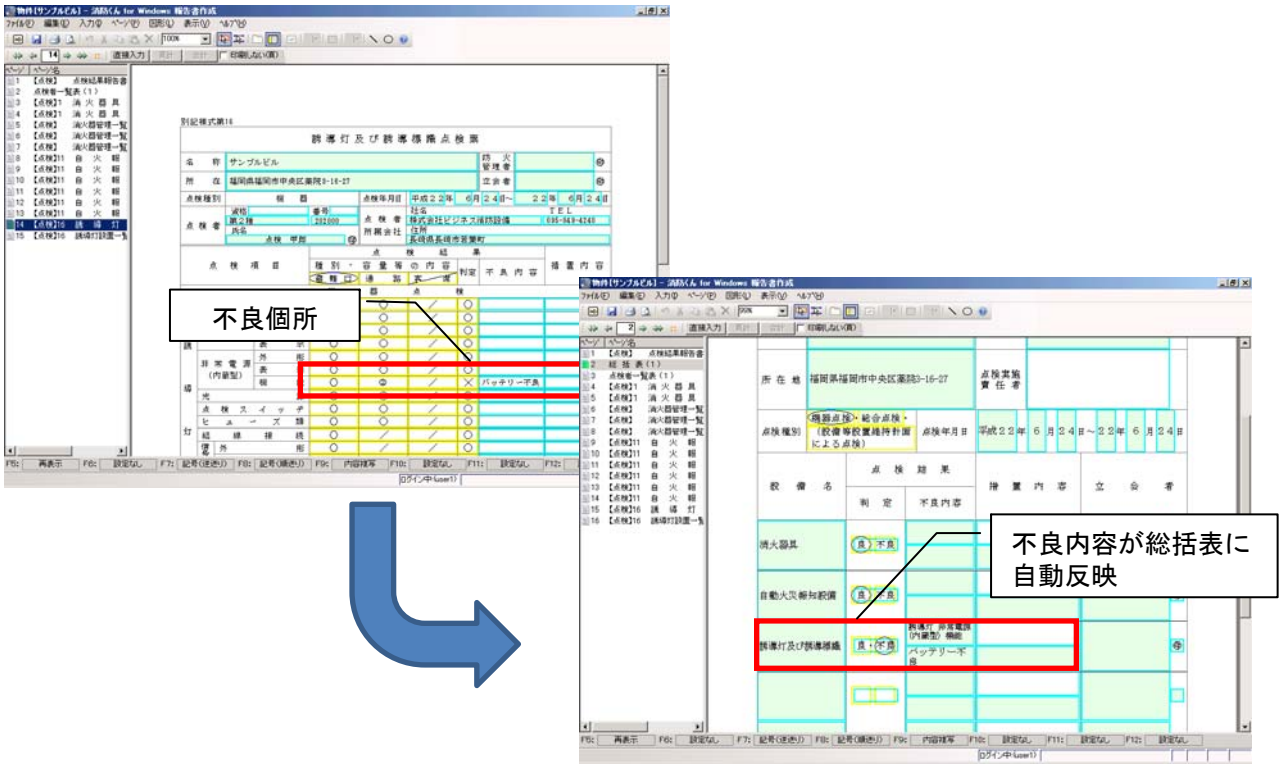




消防くん V4 特長⑦　～総括表・点検者一覧表自動作成機能１～

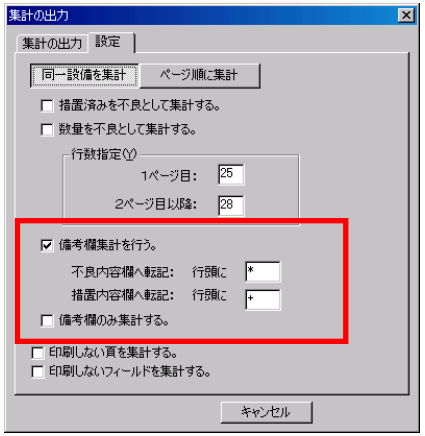
作成した各設備の点検票の入力内容から総括表および点検者一覧表を自動作成します。
面倒な総括表・点検者一覧表作成の大幅な時間短縮とミスをなくすことができます。

総括表自動作成



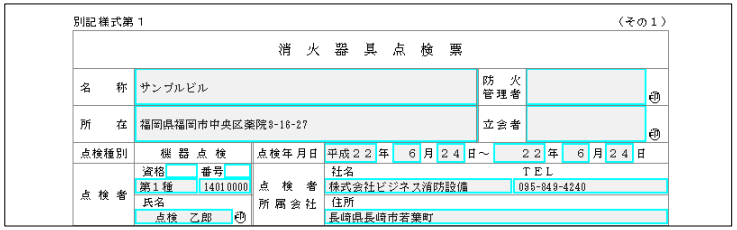
～備考欄に不良・措置内容を記入した場合～

行頭に*や+など記号を付けると、備考欄に入力した不良内容・措置内容のデータが総括表に反映させることができます。



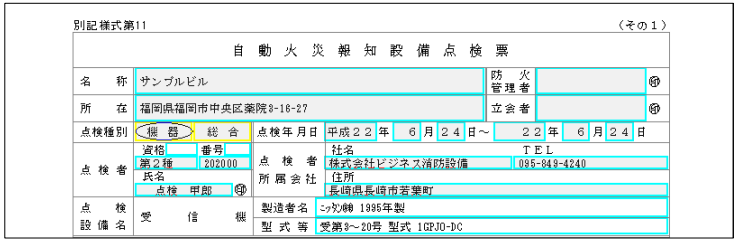
消防くん V4 特長⑦　～総括表・点検者一覧表自動作成機能２～

点検者一覧表自動作成


別記様式第１　（その１）

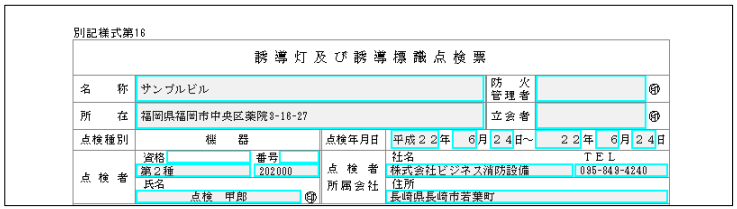
消　火　器　具　点　検　票

名　称	サンプルビル	防火管理者	
所　在	福岡県福岡市中央区薬院8-16-27	立会者	
点検種別	機器点検	点検年月日	平成２２年 6月 24日～ ２２年 6月 24日
点検者	資格 第１種 14010000 / 氏名 点検　乙郎	点検者 所属会社	社名 株式会社ビジネス消防設備 TEL 095-849-4240 / 住所 長崎県長崎市若葉町


別記様式第11　（その１）

自　動　火　災　報　知　設　備　点　検　票

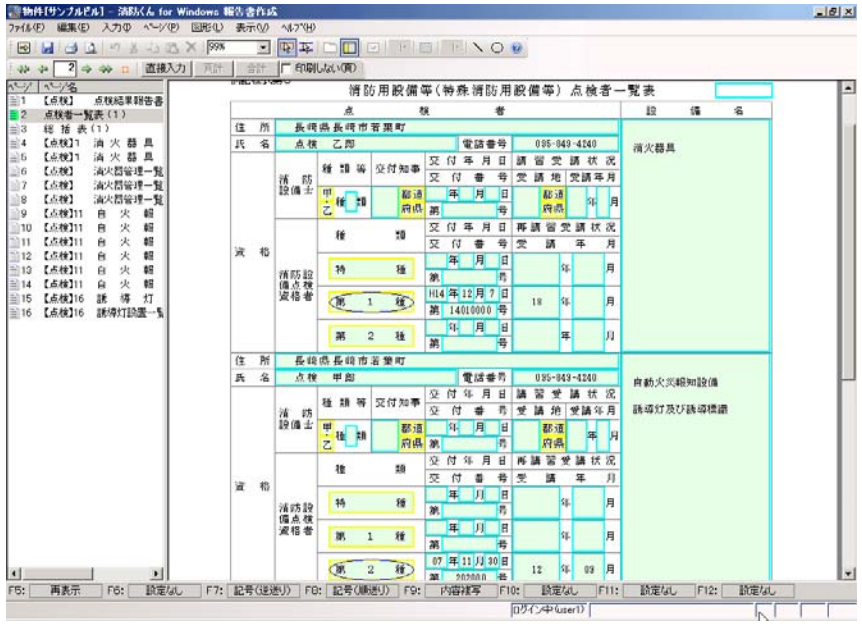
名　称	サンプルビル	防火管理者	
所　在	福岡県福岡市中央区薬院8-16-27	立会者	
点検種別	機器 / 総合	点検年月日	平成２２年 6月 24日～ ２２年 6月 24日
点検者	資格 第２種 202000 / 氏名 点検　甲郎	点検者 所属会社	社名 株式会社ビジネス消防設備 TEL 095-849-4240 / 住所 長崎県長崎市若葉町
点検設備名	受信機	製造者名 型式等	ﾆｯｹｲ機 1995年製 / 受第3～20号 型式 1GPJO-DC


別記様式第16

誘導灯及び誘導標識点検票

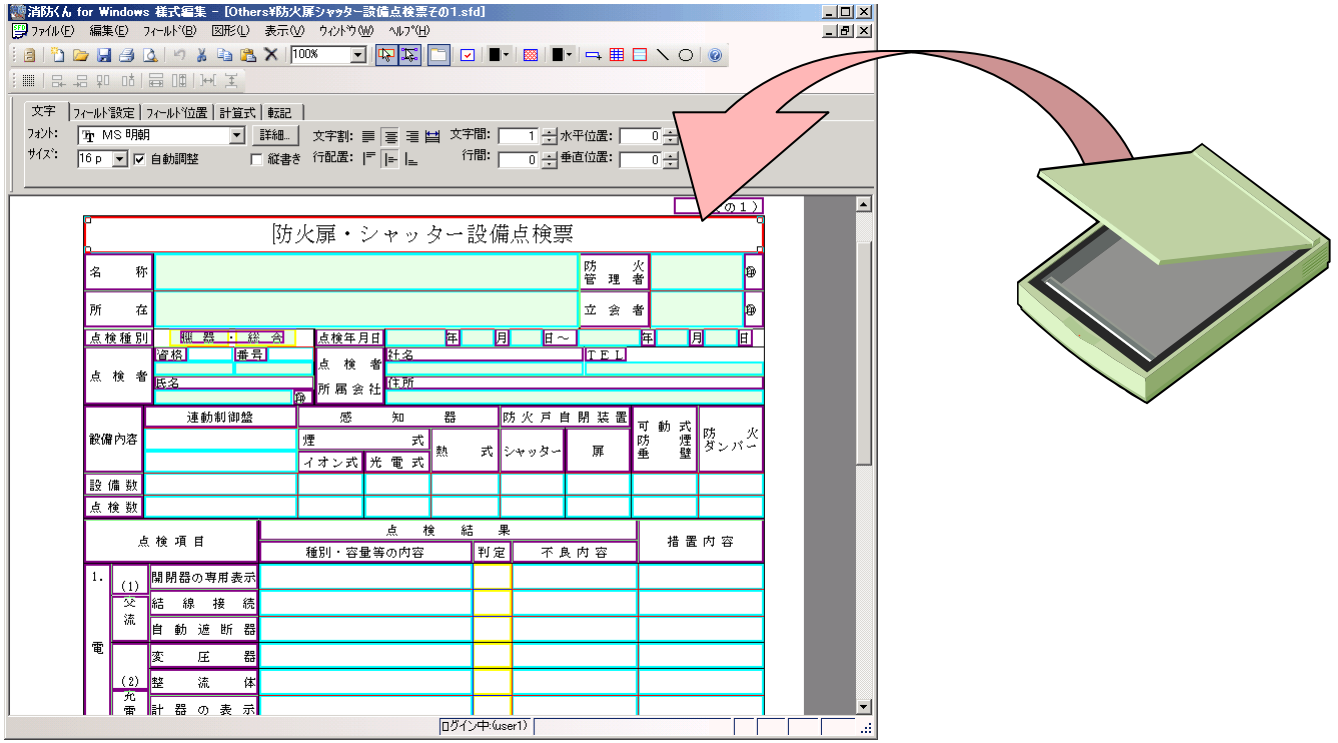
名　称	サンプルビル	防火管理者	
所　在	福岡県福岡市中央区薬院8-16-27	立会者	
点検種別	機器	点検年月日	平成２２年 6月 24日～ ２２年 6月 24日
点検者	資格 第２種 202000 / 氏名 点検　甲郎	点検者 所属会社	社名 株式会社ビジネス消防設備 TEL 095-849-4240 / 住所 長崎県長崎市若葉町

各設備の点検者情報を基に
点検者一覧を自動作成



消防くん V4 特長⑧　～フォーム編集機能～

標準搭載書式の変更や一覧表や着工届けなどの地域独自の書式の登録が可能になります。
また、消防設備以外の帳票の作成もできるので様々な業務の管理ツールとしてもご活用いただけます。点検票ソフト、エクセル、ワードなど作成する書式によりソフトを使い分ける必要が無くなり効率よく書類を管理を実現できます。
さらに、スキャナを活用すればあらゆる書面を取りこみ、書式の作成がスムーズに行えます。



消防くん V4 特長⑨　～サーバーOS対応・自動バックアップ機能～

サーバーOS対応

V4からサーバーOS(Windows Server 2003/2008)に対応いたしました。クライアントPCに保存していた物件データをサーバーへ移行し、より安定した環境でご使用いただけるようになりました。

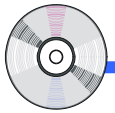
従来通りWindows XP / Windows Vista／Windows７でもご使用頂けます。

自動バックアップ

Point　データベースのバックアップ機能とWindowsのタスクスケジューラを活用することで物件データの自動バックアップが可能になります。面倒で時間が掛かる手動でのバックアップ作業が不要になります。

消防くん V4 特長⑩　～導入後のサポート体制～

問い合わせ受付用のコールセンターの設置、速やかな最新様式への対応など導入後も
ユーザーの皆様に安心してお使いいただける保守サポート体制をとっております。

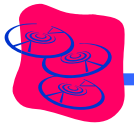


最新様式対応

消防法改訂時の最新様式への対応版を無償にて対応します。お送りした最新版ＣＤを導入していただければ様式が更新されます。

専用回線によるお問い合せ対応

ソフトウエアの操作・運用・機能に関するご質問にお電話でお答えします。トラブル発生時には原因の究明・対策のご指導を行います。ご利用時間は9：00～12：00、13：00～18：00まで（土・日・祝日・弊社休業日を除く）。E-mailでのお問い合せも可能です。



プログラムディスク破損の時の無償交換

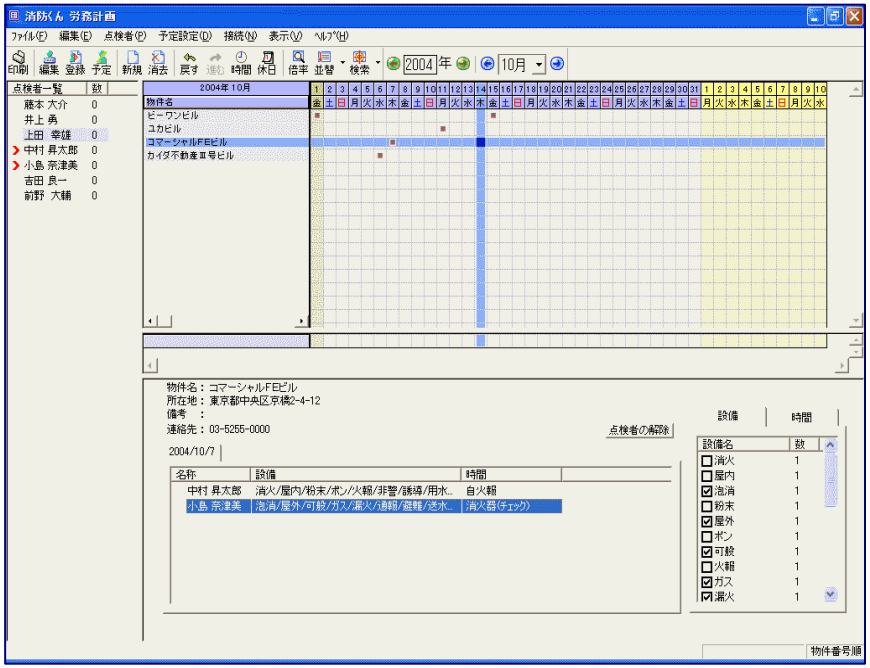
通常使用によるプログラムディスクの破損時に新しいプログラムディスクをご希望される場合、同じプログラムディスクを無償で交換いたします。（1回のみ）

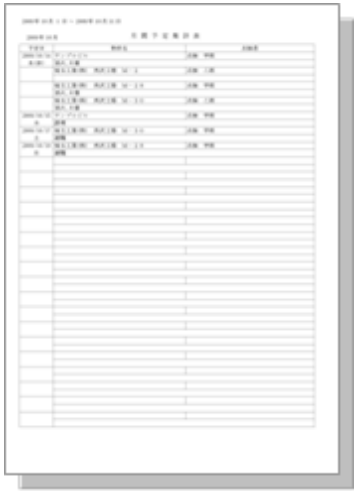
リモートメンテナンスサービス

サポートセンターのオペレータが、電話で操作方法、設定方法を口頭による説明をするだけでなく、お客様のパソコン画面をインターネット経由で確認しながら、操作案内を行えるサービスです。※操作代行はできませんのでご了承ください。（Windows2000以上のOSが対象です）

消防くん V4 特長⑪　～労務管理機能～

点検月など点検票で入力したデータを基に点検スケジュールの入力・管理が可能です。
ホワイトボードやエクセルで管理していた各物件、各点検者のスケジュールを画面上で確認することができます。





「予定通知書」の出力

“消防くん労務計画”で点検予定から
１物件１枚の「予定通知書」の出力が行えるようになりました。

消防くん V4 特長⑫　～他社製点検票ソフトからのデータ移行～

「消防くん」では他社製ソフトから安心して買い換えていただけるよう、お使いの点検票ソフトからのデータ移行のご相談を承っております。これまでに多くのユーザー様のデータ移行のお手伝いの実績があります。

■　データ移行実績及び結果

ソフト名＼移行項目	物件情報（物件名・所在地）	基本情報（会社・点検者）	点検結果報告書	試験結果報告書	備考
てんけんNeT 2002	○	○	○	○	「消防くん」に搭載していない様式については移行できない場合がございます。
点検太郎	○	×	×	×	

※データ移行は有償のサービスです。データ確認後、お見積り致します。
※お使いのバージョンにより上記結果が得られない場合がございます。
※点検票フォームの違いにより文字サイズが小さくなる場合がございます。

■　データ移行～納品までのスケジュール

ご注文から2週間で運用開始可能です。

消防くん V4 仕様および会社概要

■ 動作環境

●クライアント用ＰＣ推奨スペック

Windows XP	メモリ 512MB以上 CPU　1GHz以上 HDD　300MB以上の空き
Windows Vista	メモリ 1GB以上 CPU　1.5GHz以上 HDD　300MB以上の空き
Windows 7	メモリ 1GB以上 CPU　1.5GHz以上 HDD　300MB以上の空き

●データベースサーバー用ＰＣ推奨スペック

Windows XP	メモリ 512MB以上 CPU　1GHz以上 HDD　2GB以上の空き
Windows Vista	メモリ 1GB以上 CPU　1.5GHz以上 HDD　2GB以上の空き
Windows 7	メモリ 1GB以上 CPU　1.5GHz以上 HDD　2GB以上の空き
Windows Server 2003	メモリ 1GB以上 CPU　1.5GHz以上 HDD　2GB以上の空き
Windows Server 2008	メモリ 1GB以上 CPU　1.5GHz以上 HDD　2GB以上の空き

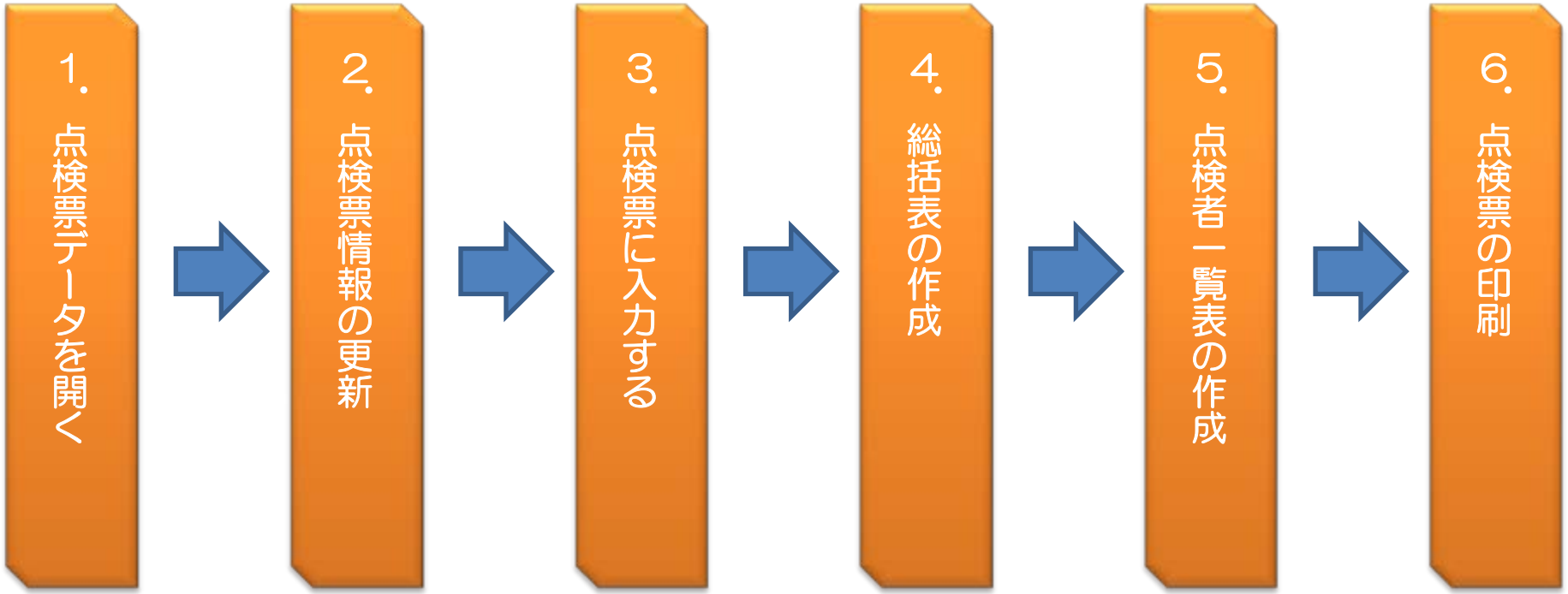
■ 会社概要

株式会社 ビジネス・ワン　http://www.businessone.co.jp
〒810-0022
福岡県福岡市中央区薬院3-16-27-3F
TEL 092-534-7761/FAX 092-534-776

消防くん V4 操作方法

基本的な操作の流れ

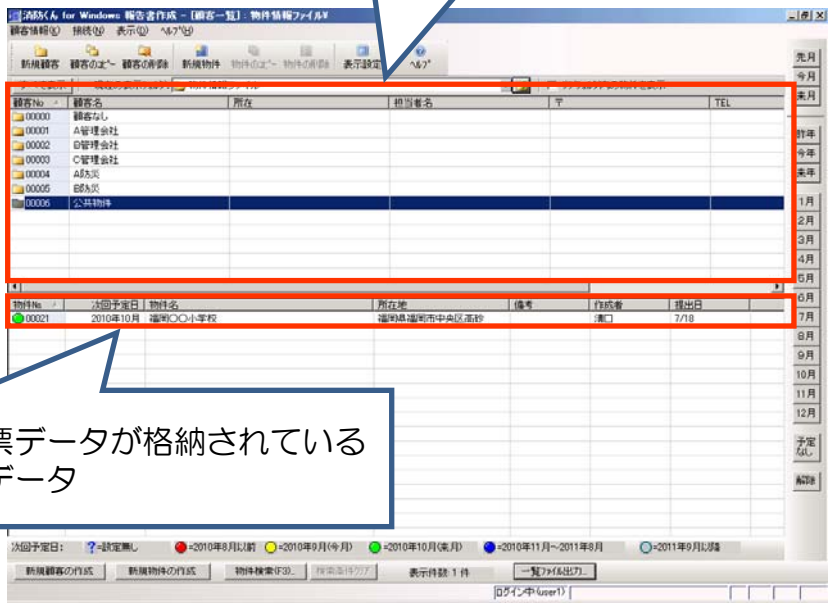
「消防くん」の運用するなかででもっとも多い使用法が、過去の点検票データを活用し今回分の点検票に手直しするという使い方です。
ここでは過去の点検票データを開いて、手直しし、印刷するまでの流れをご確認いただけます。



消防くん V4 基本操作 ― 1．点検票データを開く①

「消防くん」を起動すると一覧が表示されるので保存した場所から目的の物件データを指定します。

管理会社、地域別、五十音順などで分類(フォルダ)



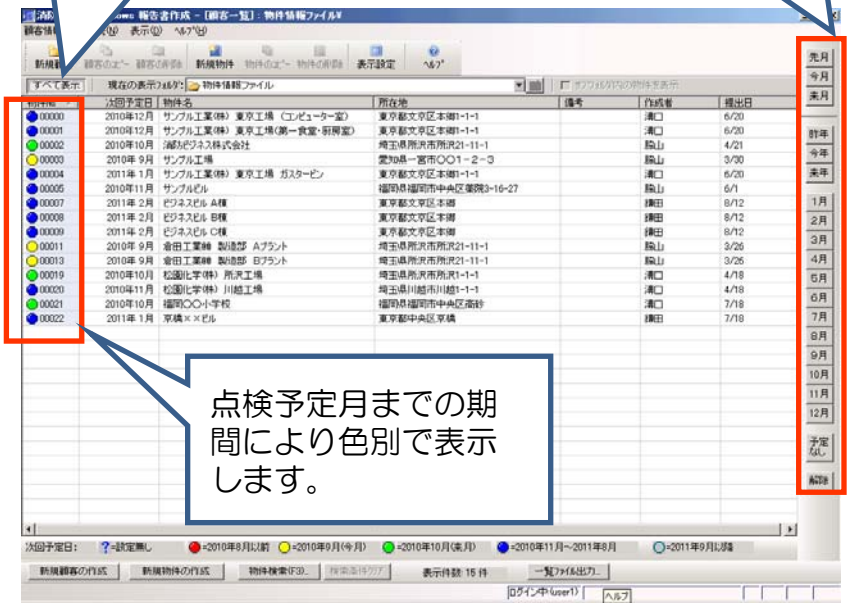
点検票データが格納されている物件データ

― 「消防くん」起動時の一覧表示 ―

切り替え

分類(フォルダ)しないですべての物件を表示することもできます。

点検予定月での絞り込みが可能です。



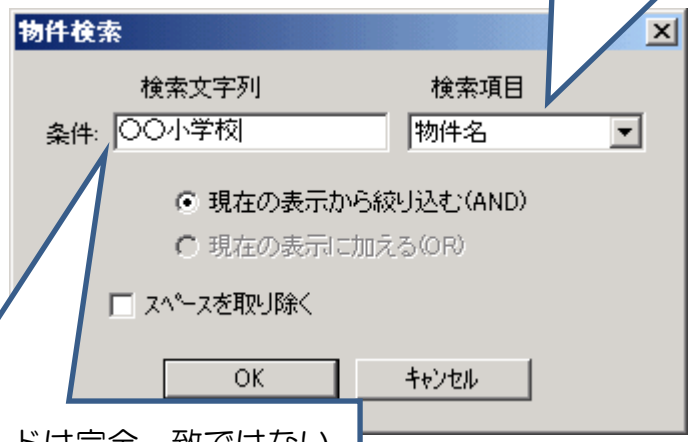
点検予定月までの期間により色別で表示します。

― すべての物件を表示 ―

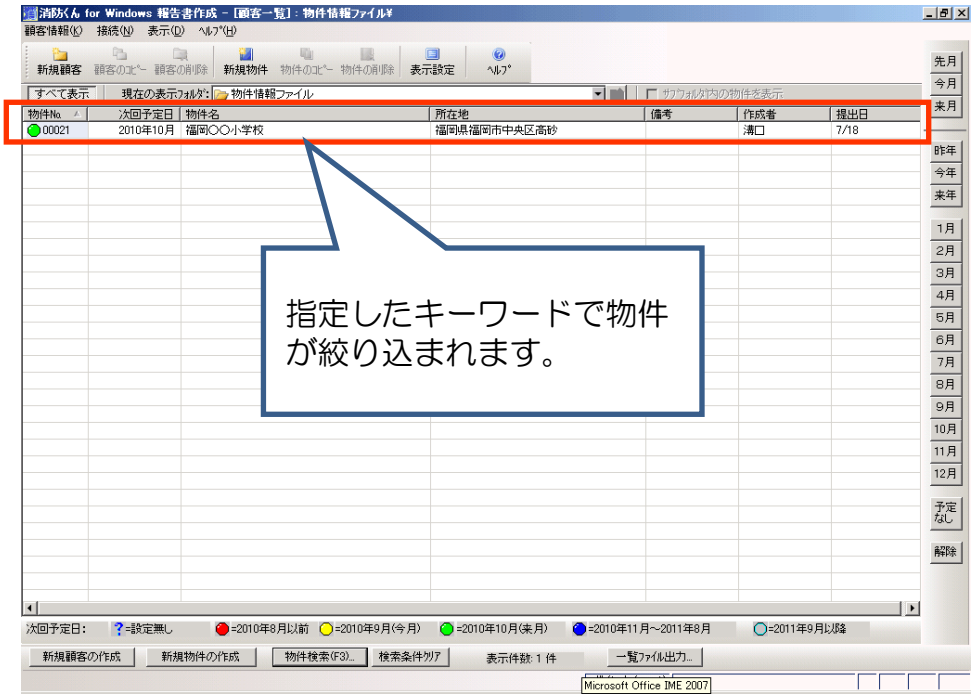
消防くん V4 基本操作 － 1．点検票データを開く②（物件検索機能）

保存している場所がわからない、物件の名称があいまいなど一覧から目的の物件データを探せない場合は“物件検索機能”で探すことが可能です。

物件名、住所、電話番号などで検索できます。



キーワードは完全一致ではないので物件名の途中も文字や一部の文字を入力しても検索できます。

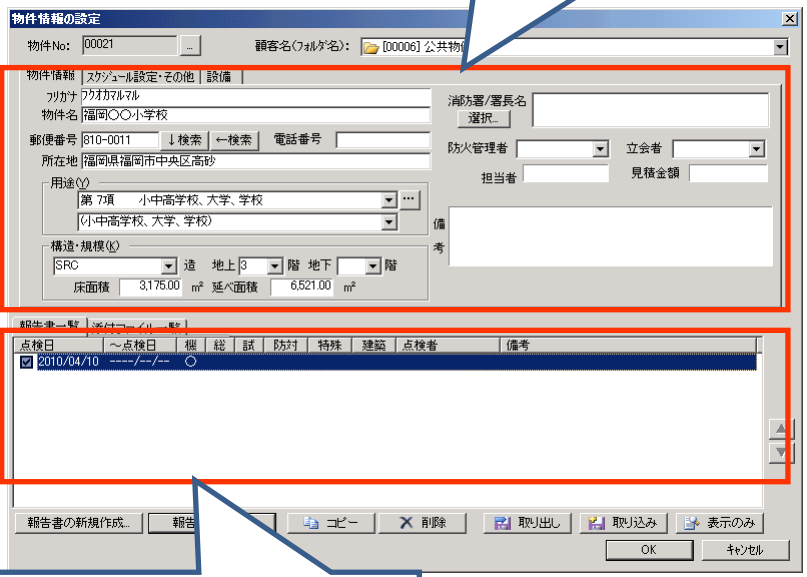


－ 検索結果－

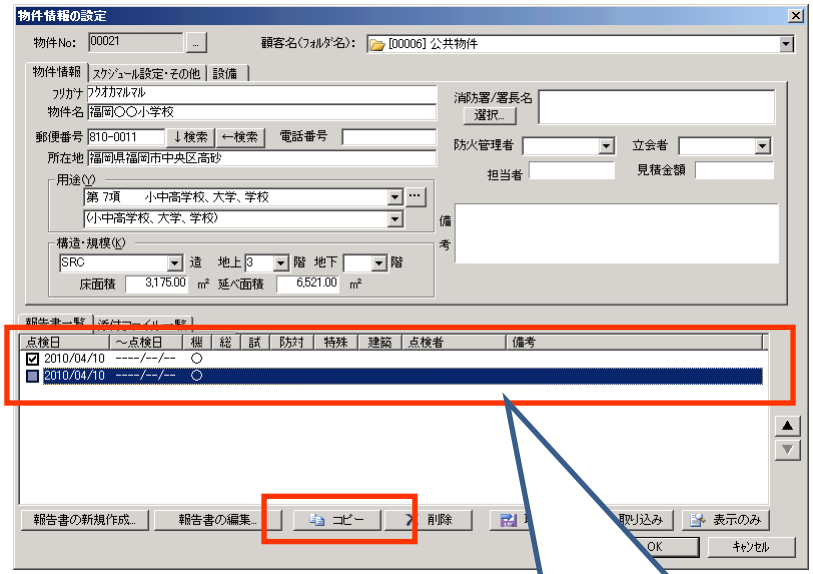
消防くん V4 基本操作 － 1．点検票データを開く③（点検票データのコピー）

物件をダブルクリックして開くと所在地、用途など物件の基本情報が表示されます。報告書一覧のなかから過去のデータを選択し“コピー”ボタンをクリックし、点検票データをコピーします。

所在地、用途、面積などの物件情報、ここで入力されたデータが点検票に反映されます。



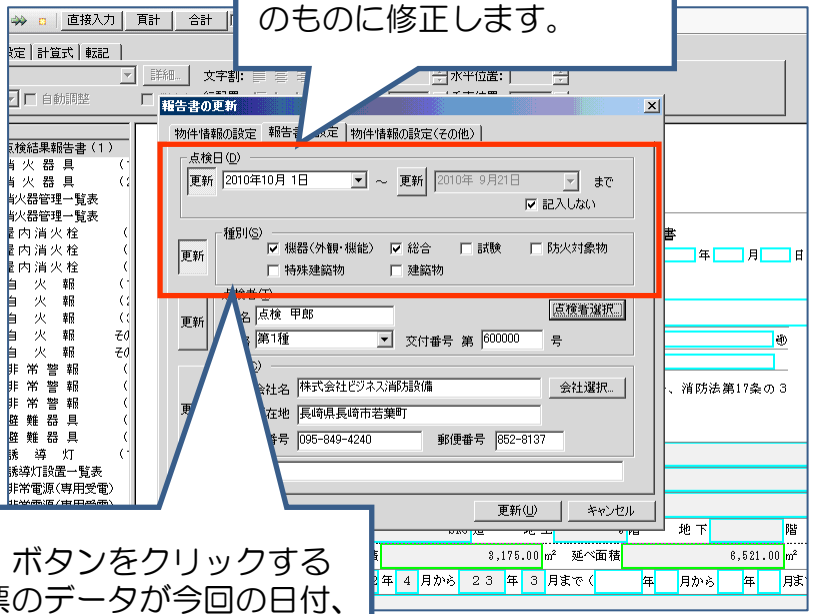
過去の点検票データが表示されます。保存件数に制限はないので5年分くらいのデータを保存する方が多いです。

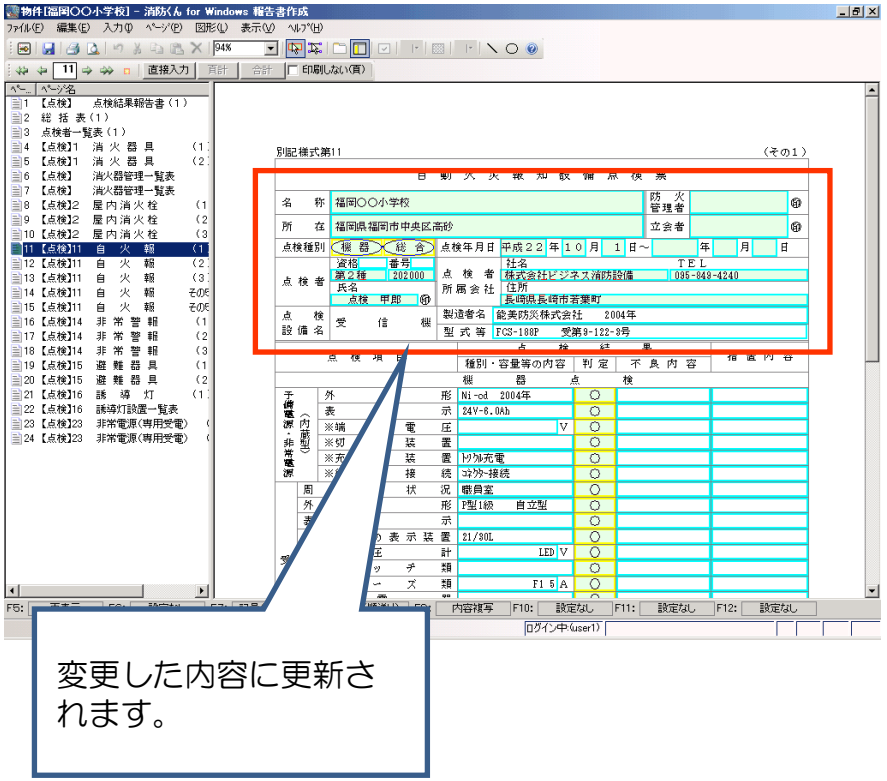


“コピー”ボタンをクリックして点検票データをコピーし、新たにできたデータを今回用に手直しします。

消防くん V4 基本操作 － 2．点検票情報の更新

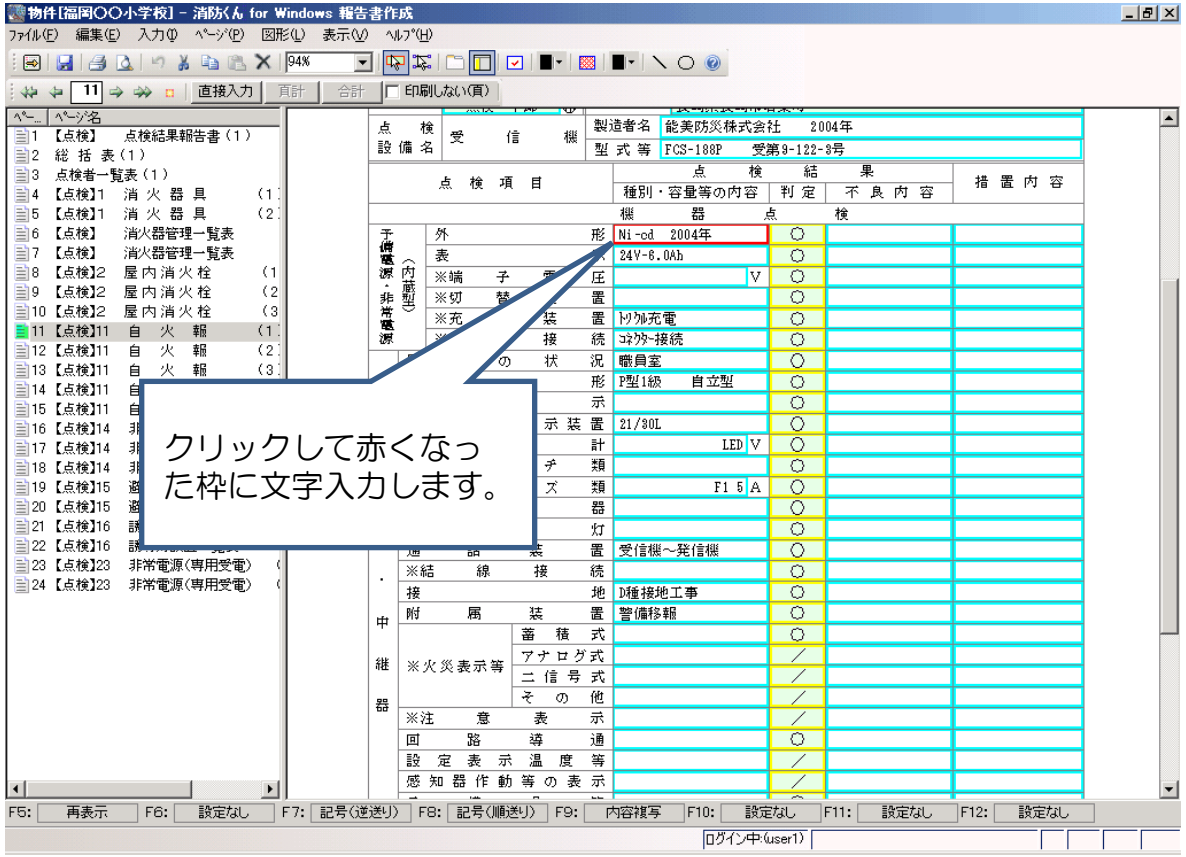
開いたデータは日付や点検種別が前回の内容なので、今回の日付、点検種別に変更し更新します。





消防くん V4 基本操作 － 3．点検票に入力する①

開いたデータは日付や点検種別が前回の内容なので、今回の日付、点検種別に変更し更新します。



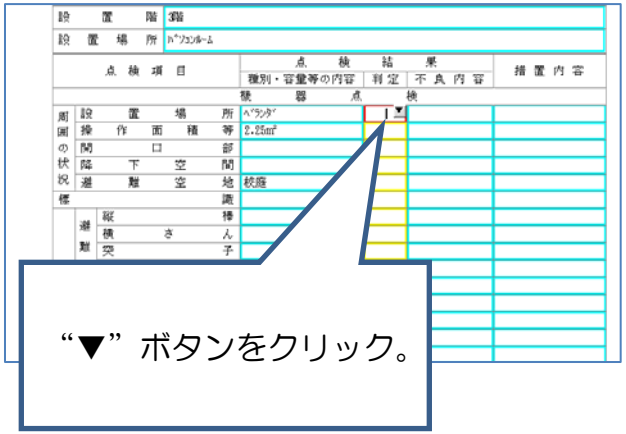
入力枠の種類

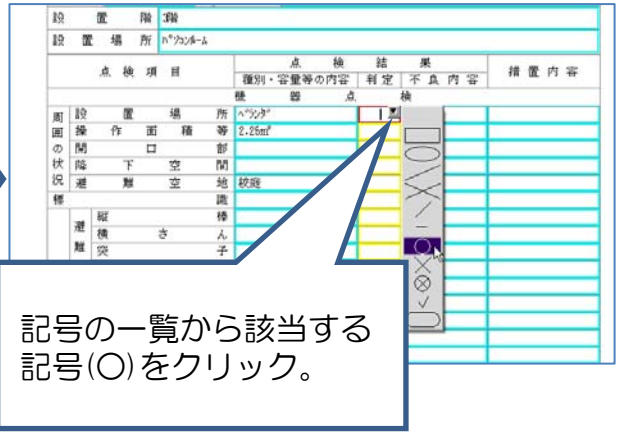
：文字入力用の枠

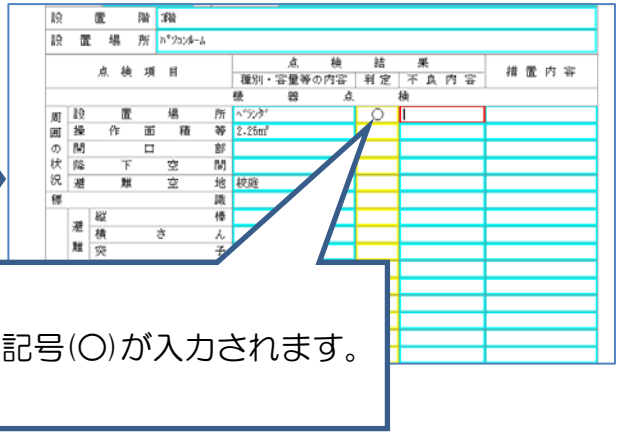
：記号入力用の枠

基本操作 － 3．点検票に入力する②（記号入力）

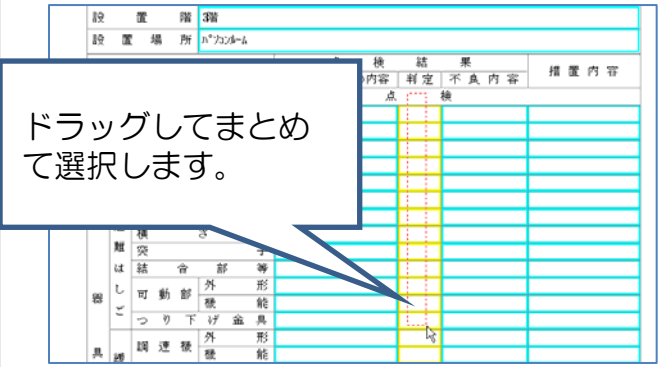
黄色の記号入力用の枠は “▼” ボタンをクリックして表示される記号の一覧から選択して入力できます。また、キーボード入力(ファンクションキーでの入力)も可能です。

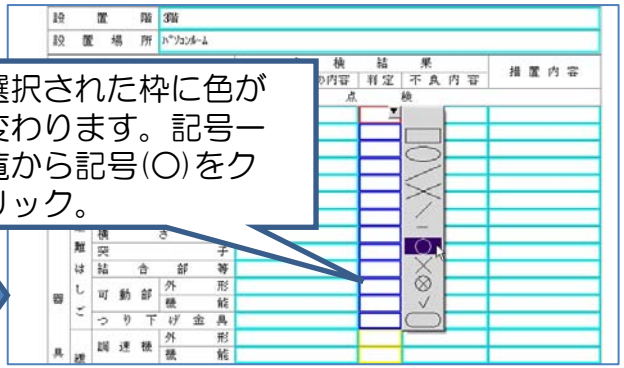


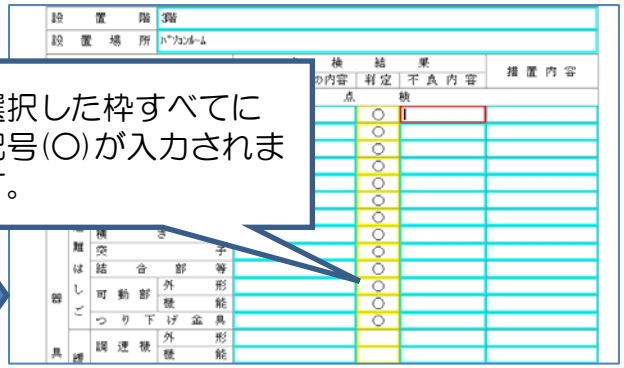




■ 複数の枠に記号をまとめて入力する方法

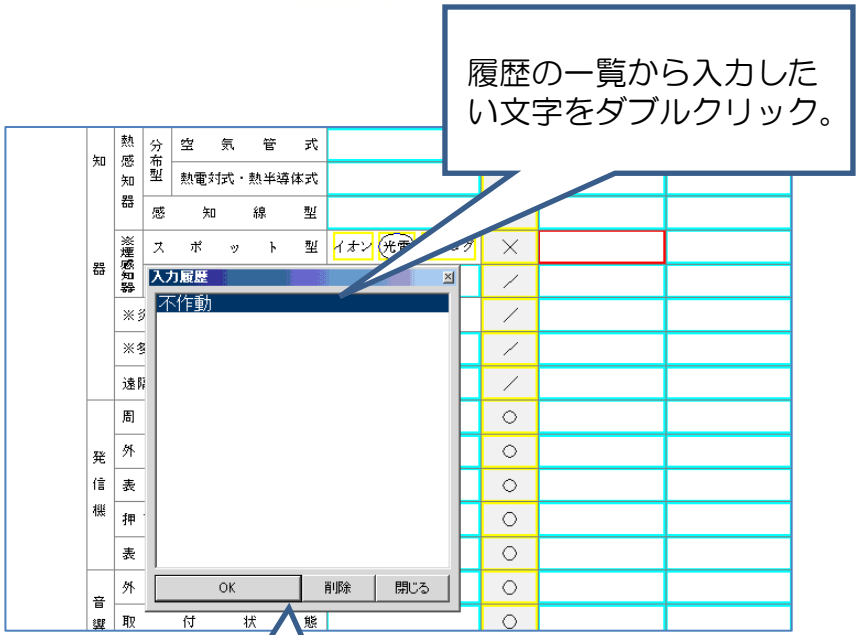


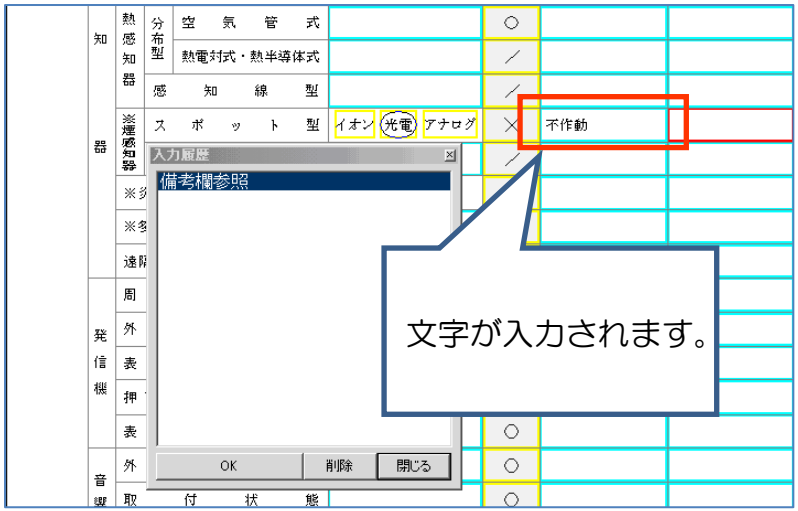




基本操作 － 3．点検票に入力する③（入力履歴機能）

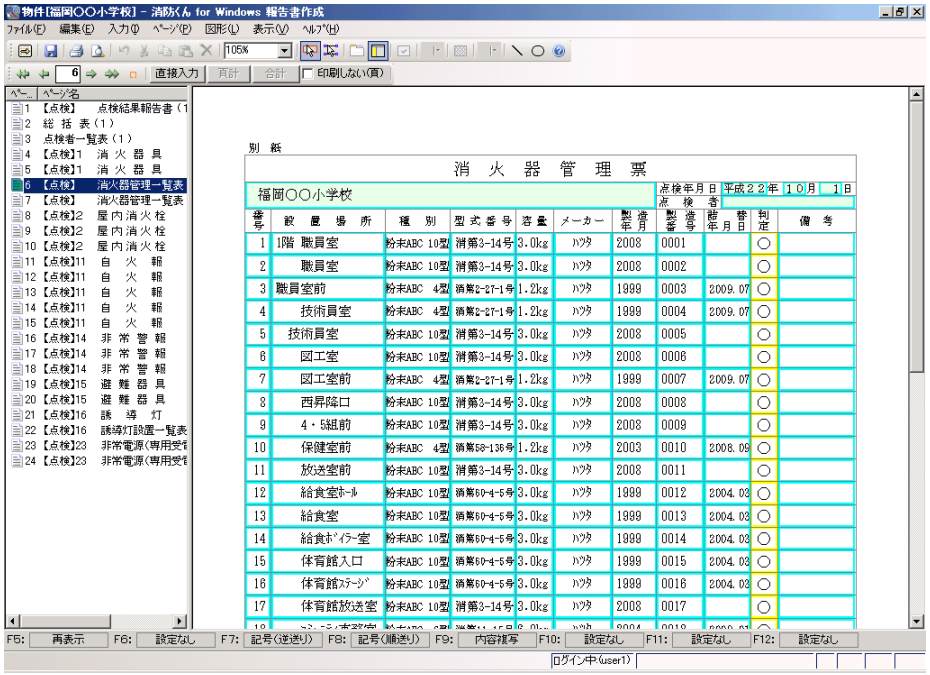
不良内容や措置内容のように決まった文言を入力する枠は“入力履歴機能”は過去入力した文字を活用し入力することができます。



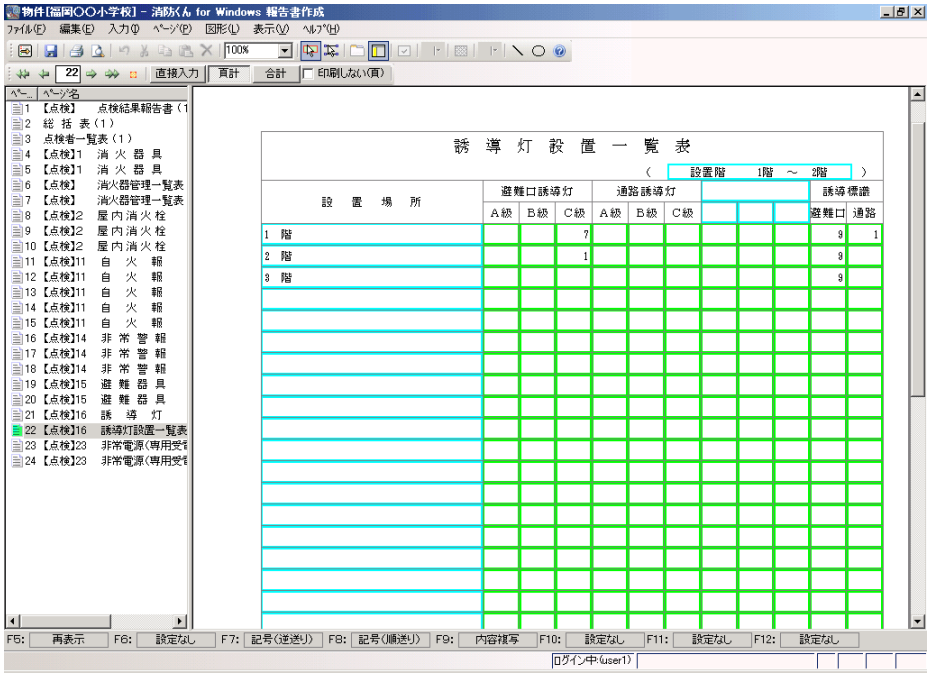


消防くん V4 基本操作 － ３．点検票に入力する④ (各種一覧表)

「消防くん」には消火器管理票、誘導灯設置一覧表などの各種一覧表を標準搭載しております。未搭載の一覧表は様式編集機能で作成することもがきます。



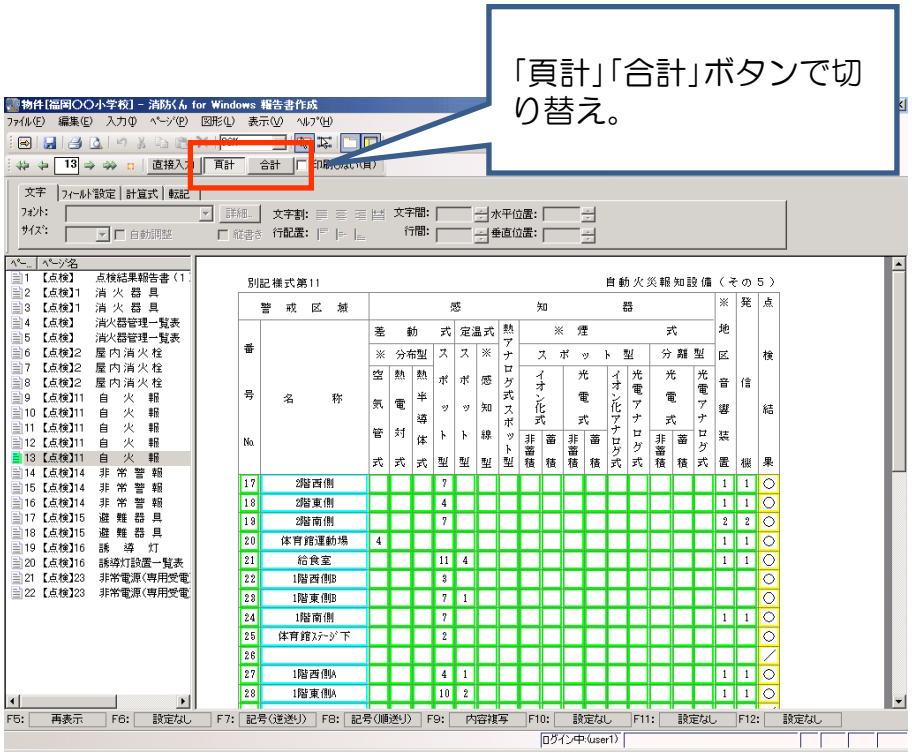
― 消火器管理票 ―



― 誘導灯設置一覧表 ―

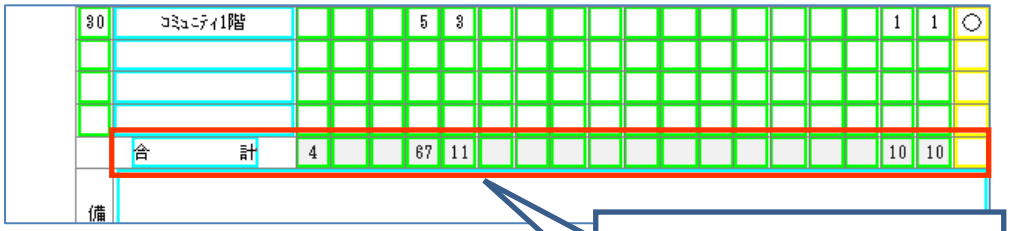
基本操作 － ３．点検票に入力する⑤ (計算機能)

自火報その５のように個数の合計したい場合、複数ページにわたる計算は「頁計」と「合計」の切り替えでそのページだけの合計と全ページの合計のどちらも表示させることができます。

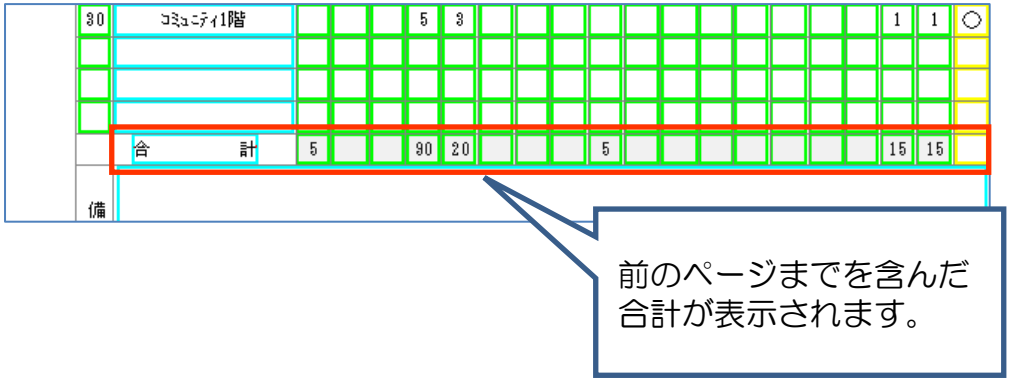


－ 自火報その５ －

「頁計」を選択した場合

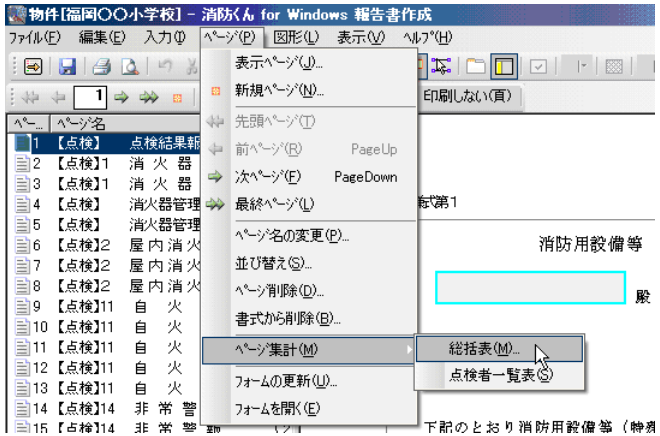


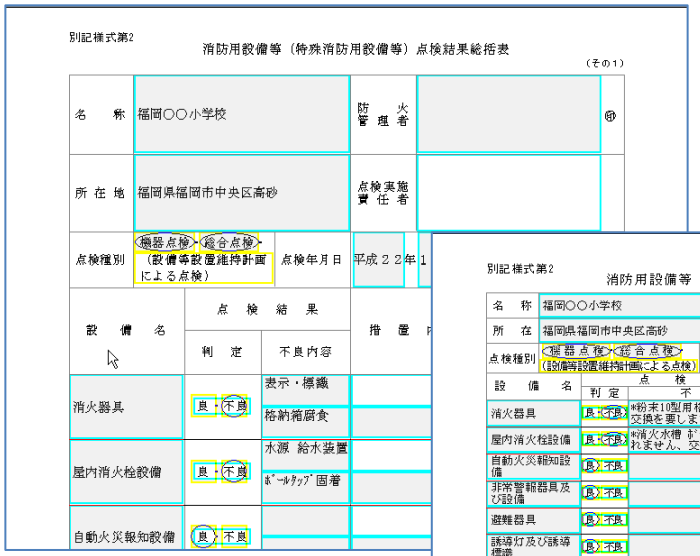
「合計」を選択した場合



消防くん V4 基本操作 － 4．総括表の作成

各設備の判定欄、不良内容、措置内容から自動で総括表を作成することができます。また、備考欄に入力した不良内容、措置内容も設定により総括表に反映させることができます。

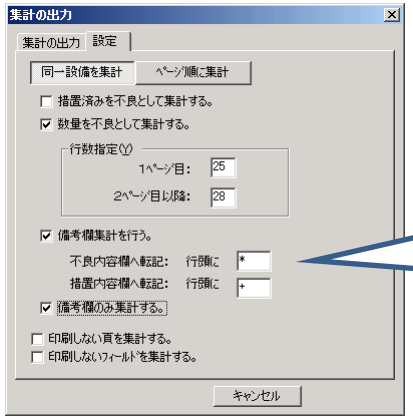



別記様式第2
消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果総括表
（その1）
名称 福岡〇〇小学校
防火管理者
所在地 福岡県福岡市中央区高砂
点検実施責任者
点検種別 機器点検・総合点検（設備等設置維持計画による点検）
点検年月日 平成２２年１
設備名
点検結果 判定 不良内容
措置内容
消火器具 良・不良 表示・標識 格納箱扉食
屋内消火栓設備 良・不良 水源 給水装置 ﾎﾞｰﾙﾀｯﾌﾟ固着
自動火災報知設備 良・不良

― 総括表 ―

別記様式第2
消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果総括表
（その1）
名称 福岡〇〇小学校
防火管理者
所在地 福岡県福岡市中央区高砂
点検実施責任者
点検種別 機器点検・総合点検（設備等設置維持計画による点検）
点検年月日 平成２２年１０月１日～ 年 月 日
設備名
点検結果 判定 不良内容
措置内容
立会者
消火器具 良・不良 *粉末10型用格納箱 2台 扉食の為、交換を要します。
屋内消火栓設備 良・不良 *消火水槽 ﾎﾞｰﾙﾀｯﾌﾟ固着の為給水されません、交換を要します。
自動火災報知設備 良・不良
非常警報器具及び設備 良・不良
避難器具 良・不良
誘導灯及び誘導標識 良・不良
非常電源（非常電源専用受電設備） 良・不良

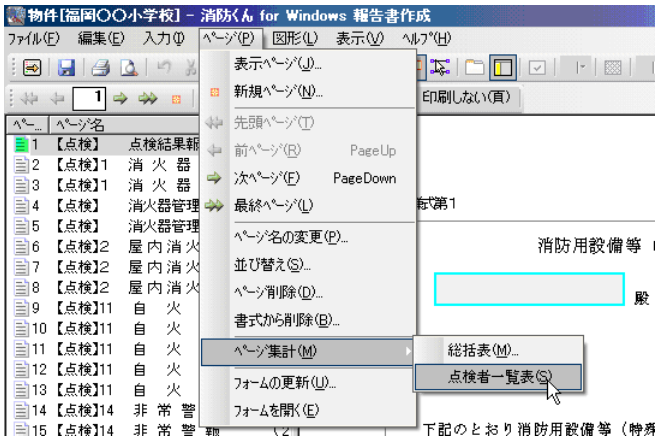
― 備考欄を反映させた総括表 ―

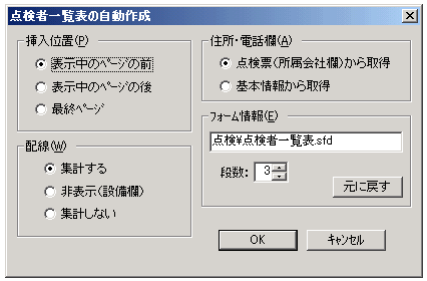

集計の出力
集計の出力 設定
同一設備を集計
ページ順に集計
措置済みを不良として集計する。
数量を不良として集計する。
行数指定(Y)
1ページ目: 25
2ページ目以降: 28
備考欄集計を行う。
不良内容欄へ転記: 行頭に *
措置内容欄へ転記: 行頭に +
備考欄のみ集計する。
印刷しない頁を集計する。
印刷しないフィールドを集計する。
キャンセル

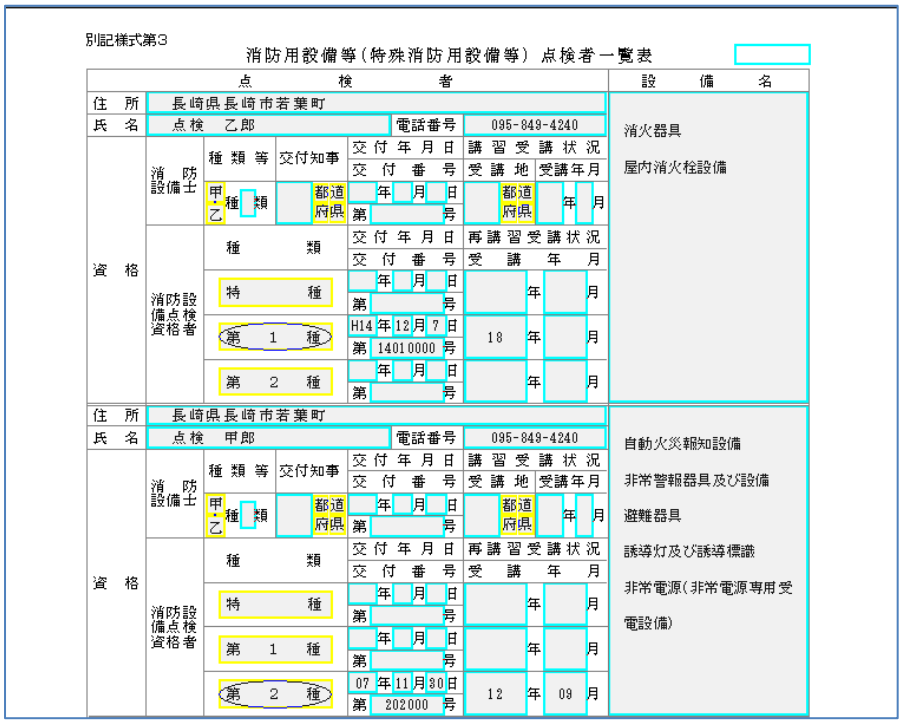
備考欄に入力した不良内容、措置内容を総括表に反映させることもできます。

消防くん V4 基本操作 － 5．点検者一覧表の作成

各設備の点検者情報をもとに点検者一覧表を自動作成します。







別記様式第3

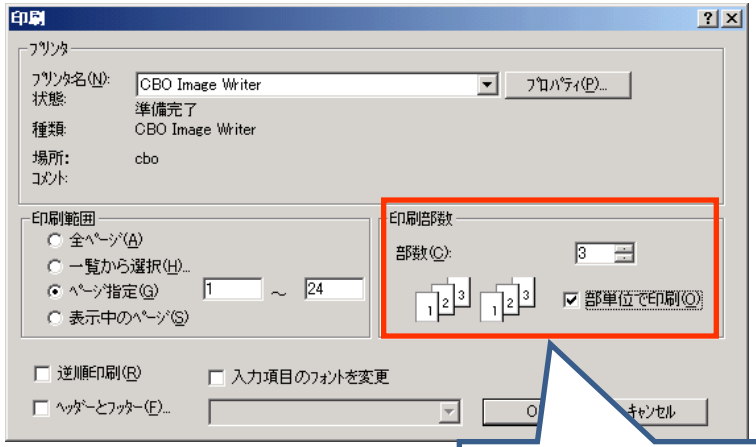
消防用設備等（特殊消防用設備等）点検者一覧表

点検者							設備名
住所	長崎県長崎市若葉町						消火器具 屋内消火栓設備
氏名	点検 乙郎			電話番号	095-849-4240		
資格	消防設備士	種類等	交付知事	交付年月日 交付番号	講習受講状況 受講地 受講年月		
		甲・乙 種 類	都道府県	年 月 日 第 号	都道府県 年 月		
	消防設備点検資格者	種類		交付年月日 交付番号	再講習受講状況 受講 年 月		
		特種		年 月 日 第 号	年 月		
		第1種		H14年12月7日 第 1401 0000 号	18 年 月		
		第2種		年 月 日 第 号	年 月		
住所	長崎県長崎市若葉町						自動火災報知設備 非常警報器具及び設備 避難器具 誘導灯及び誘導標識 非常電源（非常電源専用受電設備）
氏名	点検 甲郎			電話番号	095-849-4240		
資格	消防設備士	種類等	交付知事	交付年月日 交付番号	講習受講状況 受講地 受講年月		
		甲・乙 種 類	都道府県	年 月 日 第 号	都道府県 年 月		
	消防設備点検資格者	種類		交付年月日 交付番号	再講習受講状況 受講 年 月		
		特種		年 月 日 第 号	年 月		
		第1種		年 月 日 第 号	年 月		
		第2種		07年11月30日 第 202000 号	12 年 09 月		

― 点検者一覧表 ―

消防くん V4 基本操作 － ６．点検票の印刷

作成した点検票を印刷します。複数部必要な場合は部数選択し印刷を実行します。



２部、３部必要な場合は部数選択します。

ドラッグまたはCtrl＋クリックで選択します。

“一覧から選択”で任意のページを選択し印刷することができます。